

令和5年度

京都市立第四錦林小学校

研究の概要

研究報告

校内研究 学習指導案集

年間指導計画表

(関連単元配列表)



# 研究の概要

# 令和5年度 研究の概要

第四錦林小学校研究部

学校教育目標

## 自ら考え判断し、自信をもって行動する子を育てる

### 1 研究主題

情報活用能力を發揮して、自信をもって表現する子の育成  
～GIGA 端末を活用した、主体的・対話的で深い学びをとおして～

### 2 研究仮説

これまでの研究で大切にされてきた「生徒指導三機能（「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する）」は、学級経営、授業づくりの基本とし、日々の教育活動全体を通して児童の「自己指導力」を高めていくことは変わらない。その上で、GIGA 端末を活用して「個別最適な学び」と「協同的な学び」を一体として充実させていくことで主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりを行う。このような学習活動を通して身につけた「情報活用能力」を發揮すれば、自らの考えや判断の根拠を持つことができ「やってみよう」とチャレンジする子を育てることができるのではないだろうか。

### 3 研究主題設定の理由

本校児童の特徴として、大人から言われたことは守り、頑張ろうとする姿が見られ、友だちとも仲よくしよう、やさしくしようとして行動し、真面目で穏やかな子が多い。反面、自分に自信がもてずに教師や大人の判断を待ったり、友だちの言動に影響を受け、安易な方に流されたりすることが多い。また一方で自分の思いを表現したり伝えたりすることが苦手で、相手を傷つける言葉や手を出してしまう行動に表れるなど、個別の支援を必要とする児童への適切な指導・支援も求められる。

このような背景から、学校教育目標を「自ら考え判断し、自信をもって行動する子を育てる」と掲げ、将来の予測が困難な時代にも、多様な他者と関わりながら、自律して行動できる力を備えた子どもの育成をめざしている。そして、Society5.0 時代を生きるデジタル・ネイティブな子どもたちが、デジタル社会の一員として、よりよい社会を築いてほしいと願う。

本研究では、情報活用能力を「表現力」からアプローチする。「表現する」という学習のゴールに向かって情報活用の一連の学習活動を何度も繰り返し探究的な学習を進めることで、情報を整理したり分析したりして自らの考えを深めるすべを身につけることができるようになることを考える。中教審答申（令和3年1月）で言われているように、GIGA 端末を活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びをめざして授業改善に取り組むことで、学習の基盤となる情報活用能力の厚みが増し、自らの考えに自信をもってそれを表現する子どもを育成したいと思っている。

子どもたちに確かな情報活用能力を育成し、それをあらゆる学習活動で發揮させ、学校教育目標に掲げる子どもの育成をめざしていきたい。

<h2>目指す子ども像</h2>	自ら学ぶ子・・自分で考え行動する子 やさしい子・・人の言葉に耳をかたむける子 元気な子・・心も体も健康な子
------------------	---

本年度教育活動全般において重視する視点	
GIGA スクール構想の推進	地域と連携した持続可能な教育活動(SDGs)

## 自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる

### 校内研究会

校長 教頭 教務 研究部 GIGA 推進チーム  
 生徒指導部・特活部 総合育成支援部 人権教育部 各教科主任

#### 研究部

#### 【授業研究チーム】

#### 【学力分析・基礎学力チーム】

### 各部会の働きと連携

#### 研究

#### 【授業研究チーム】

- ・年間 7 回の校内研究授業および事後研究会の実施
- ・校内研修会(理論・実技)の企画および運営
- ・取組評価 (PDCA サイクルの構築)

#### 【学力分析・基礎学力チーム】

- ・各種調査を分析し、評価を行う。
- ・表現力についての評価指標の作成。
- ・学力定着に向け家庭学習や常時間の学習の提案

#### GIGA 推進チーム

- ・タブレット端末活用計画の策定
- ・タブレット端末活用実践研修
- ・GIGA スクール構想にまつわる理論研修
- ・各学級のメディア活用サポート

#### 総合育成支援部

- ・支援が必要な児童情報の共有およびケース会議
- ・総合育成支援に関わる全校取組の提案・運営
- ・校内研修会の企画・運営
- ・個別の指導計画の管理

#### 人権教育部

- ・各領域からの全校取組提案および運営
- ・全校取組への環境整備
- ・校内研修会の企画および運営
- ・人権啓発参観、事後啓発の企画および運営

#### 生指・特活部

- ・生徒指導問題の共有およびケース会議の実施
- ・生指、特活に関わる全校取組の提案・運営
- ・児童会活動の企画、運営
- ・いじめ、不登校対策委員会の運営

5 研究計画

	内 容
4月	13日 第1回校内研究会 研究提案・情報モラル教育年間計画・基礎学力チームより教室環境、家庭学習、帯時間の学習の提案・公開授業年間計画作成に向けた希望調査 関連単元配列表・資質能力育成表・情報活用能力育成表の作成
5月	31日～6月1日 修学旅行（6年）
6月	7日 理論研修「主体的な学びの土台になる3つの学習スキル」 桃山学院教育大学・木村明憲准教授 22日 校内研究授業公開①（1年生・生活科「さかせたいな わたしのはな」） 第2回校内研究会：校内研究授業 事後協議会（1年生・生活科）
7月	児童アンケート①（学校評価アンケート）・教員アンケート①実施 20日 実践事例報告の作成① 夏季各種研修会・講座への参加
8月	夏季各種研修会・講座への参加
9月	8月28日～9月1日 自由研究発表週間 5日 第3回校内研究会：校内研究授業 事前協議会（3年生・社会科） 20日 校内研究授業公開②（3年・社会科「わたしたちの暮らしとはたらく人々～工場で作られるもの～」） 第4回校内研究会：事後研究協議会（3年生・社会科「わたしたちの暮らしとはたらく人々」）
10月	17日 スポーツフェスティバル（午前開催） 19日 校内研究授業公開③（4年生・国語科「伝統工芸のよさを伝えよう」） 第5回校内研究会：事後研究協議会（4年生・国語科「伝統工芸のよさを伝えよう」）
11月	17日 近畿放送教育研究大会 授業公開（2年生・生活科「あそんで、ためして、くふうして」） （6年生・総合的な学習「京都の魅力を発信しよう」） 30日 第6回校内研究会：事後研究協議会（2年・生活科、6年・総合的な学習）
12月	児童アンケート②（学校評価アンケート）・教員アンケート②実施 21日 実践事例報告の作成②
1月	9日 第7回校内研究会：学力分析研修 18日 校内研究授業公開④（5年生・算数科「わくわく算数ひろば『算数ラボ』」） 第8回校内研究会：事後研究協議会（5年生・算数科「わくわく算数ひろば『算数ラボ』」）
2月	15日 校内研究授業公開⑤（育成学級・国語科） 児童アンケート③（学校評価アンケート）・教員アンケート③実施
3月	9日 第9回校内研究会 研究のまとめ（年間反省・アンケート分析・来年度に向けて） 関連単元配列表のふりかえり・総合的な学習の時間のふりかえりと単元構想の練り直し・情報モラル教育のふりかえりと年間計画の見直し（研究冊子作成）

○研究成果の評価

アンケート結果を分析し、研究の成果と課題、児童の変容を検証する。  
児童アンケート、教員アンケート調査を行い、その結果をもとに指導方法のあり方を検討したり、成果と課題、児童の変容を明らかにしたりする。また、アンケート結果の経年比較により効果的な指導の在り方について検証する。

# 研究報告

# 令和5年度の 研究の取組

## 今年度の新たな取り組み

- ★情報活用支援ツールを参考にして  
指導内容と指導時期や単元を明確にして  
関連単元配列表に示す。
- ★音楽集会 Let's sing!! の実施

## 昨年度から継続する取り組み

- GIGA端末を文房具にするための環境整備
- 「つなぐ」を意識した研究の記録
- 公開授業と研究協議会
- 夏休み自由研究と自由研究発表会
- 学習発表会

## 育成する情報活用能力を明確にする

育成する資質・能力を明確にして6年間の指導を見通せるように、情報活用能力育成の指導内容と指導時期や単元を関連単元配列表に示すようにした。

国語	1 春の河／小景異情／眺めてみよう	1 漢字の広場①	2 文の組み立て
	4 掃り道	7 笑うから楽しい／時計の時間と心の時間	1 天地の文
書写	1 地域の施設を活用しよう	／【情報】主張と事例	2 【情報】情報と情報をつなげて伝えるとき
	2 漢字の形と音・意味	1 話し言葉と書き言葉	10 私たちができること
社会	2 春のいぶき		R5年共有
	6 聞いて、考えを深めよう 自分の考えとの共通点や相違点を明らかにしながら情報を集める。		書いたものを読み合って、助言し合う。 受け手の反応を確認しながら、質問や指し示し、書き込みなどをして伝える。
	1 文字の形の4年まで学習すること	2 文字の大きさと配列	3 文字の大きさ（メモ）
	1 はじめの学習	1 レッツ・トライ（メモ）	1 レッツ・トライ（ノート）
	7 わたしたちのくらしと日本国憲法	4 国の政治のしくみと選挙	8 縄文のむらから古墳のくにへ
	R5資料の一斉送付	7 子育て支援の願いを実現する政治 ／震災復興の願いを実現する政治	情報を取り出す際シンキングツールなどを用いて比較したり、関連づけたらして再構成し、活用しやすいように情報を整理する。



### 参考文献

- 情報学習支援ツール実践カード&ハンドブック
- 木村明志 (著), 黒上晴夫 堀田健也 (監修)
- 出版社：まくら社 発売日：2016/12/1



# 音楽集会 Let`s sing!!

研究の柱である「表現力」を発揮できる学校行事として音楽集会を行う。

今年度から、全校が集まる機会に「校歌」と「全校合唱の曲」を歌うようにした。歌唱指導をする中で「お互いの声を聴きあう」ことを指導し、めざす子ども像の一つである「やさしい子」（人の言葉に耳をかたむける子）の育成を目指している。



合唱曲の選定は教科書教材を中心に選ぶこと、ステージへの移動は行わずにその場で起立して歌うことで、過剰な演出にならないように配慮した。

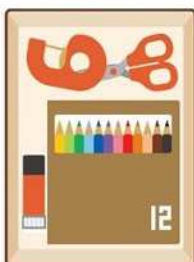
昨年度より  
継続している  
取り組み

## GIGA端末活用 はじめの一歩

### GIGA端末は文房具

登校したら、保管庫からお道具箱に入れ、いつでも使える状態にする。

お道具箱の中を整理する。



使用頻度の低いものは担任が預かり、スペースを確保する。



### 道具を大切に使う

6年生から新1年生へていねいに受け継ぐ

- 学年末に6年生がGIGA端末を清掃。
- 新1年生に向けて、楽しく正しい活用を紹介する動画を作成。



- ↓
- 新1年生がGIGA端末と出会う場面に活用する。

昨年度より継続している取り組み

「つなぐ」を意識した研究の記録

学期ごとに記録作成の時間を設定し、「GIGA端末活用の指導事例の作成」と関連単元配列表に活用したアプリ等を記入する。  
⇒関連単元配列表を記録として次年度に引き継ぐ。



GIGA端末活用の指導事例

全市共通の報告用フォーマットを使用する。

関連単元配列表

授業で活用したアプリ等をアイコン化して記録

昨年度より継続している取り組み

## 夏休みの自由研究 & 自由研究発表会

### 夏休みの自由研究

夏休みは自由研究・探究活動の期間です。自由研究を通して、自分の関心のあるテーマについて調べ、学び、発表する機会があります。自由研究を通して、探究心を育て、自己表現力を高めることができます。

- 1 夏休みに入るまでに 自由研究のテーマを決めよう
  - ① テーマ (何について?)
  - ② タイトル (何?)
  - ③ 手順 (どうやる?)
  - ④ 実験 (どうやって調べる?)

保護者向けのプリントを作成し、自由研究のイメージを共有

- 研究テーマの決定 (自由研究のテーマを決める)
- 研究計画の作成 (自由研究の計画を立てる)
- 実験・観察の実施 (自由研究の実験・観察を行う)
- 結果の整理 (自由研究の結果をまとめる)
- 発表の準備 (自由研究の結果を発表する)

2学期 自由研究発表を行い がんばりを認めよう



話し方・見せ方について指導し、ふりかえりアンケートを行った。

児童が自ら学びたいと考えたことに向かい合い、生き生きと表現できるようにする。

## 第四錦林小学校

# 学習指導案集

### 1 11月17日公開授業 指導案

【2年】国語科「おにごっこ」 ..... 11

【6年】総合的な学習の時間「京都の魅力を発信しよう」 ..... 16

### 2 校内研究授業 指導案

【1年】生活科「さかせたいなわたしのはな」 ..... 21

【3年】社会科「わたしたちの暮らしとはたらく人々  
～工場でつくられるもの～」 ..... 26

【4年】国語科「伝統工芸のよさを伝えよう」 ..... 32

【5年】算数科「わくわく算数ひろば『算数ラボ』」 ..... 37

【育成】国語科「ともだちのことをしらせよう」 ..... 41

今年度より学習指導案の様式を簡素化した。児童の実態や単元設定の理由といった教科に関する記述を省略した。代わりに「本時でつけたい情報活用能力」を記述するようにし、授業者が児童につけたい力をよりはっきりと意識して示せるように変更した。

# 11月17日公開授業 指導案集

## 第2学年・生活科 情報活用能力育成の学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 小林 歩

1 日 時 令和5年11月17日（金） 第5校時（13:25～14:10）

2 学年・組 第2学年1組（34名）

3 単元名 あそんで ためして くふうして

【内容（6）自然や物を使った遊び】

### 4 単元の目標

身近にある物を使って遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、遊びやおもちゃをつくる面白さや、身近な物がいろいろな遊びに利用できることに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。

### 5 単元の評価規準

#### 【知識・技能】

身近にある物で遊ぶ活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、おもちゃの動きの不思議さに気付いている。

#### 【思考・判断】

身近にある物で遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

身近にある物で遊ぶ活動を通して、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

### 6 指導計画

	時	○学習活動	◆主な発問	子どもの反応	指導のポイント	評価
ホップ	1	○集めた物を見ながら、どんな特徴があるか、どんなことができそうか、出し合う。 ◆集めたものでどんなことができるかな。何を使って遊ぼうかな。			<ul style="list-style-type: none"> <li>集めた素材の山を一度にひっくり返すことで、ワクワク感が生まれるようにする。</li> <li>片付けのときに、素材ごとに分けて片付けられるようにする。</li> </ul>	態 思
ステップ	2 3 1	○集めた物の特徴を生かして、積んだり、転がしたり、はじいたりしながら遊ぶ。 ◆集めたものでどんなことができるか試して、遊んでみよう。			<ul style="list-style-type: none"> <li>素材の特徴がつかめるように、まずは1つの素材に注目して時間やスペースを区切るなどして場の設定をする。</li> <li>安全に活動できる十分な広さを確保するため、2-1教室と放課後まなび教室を使用する。</li> <li>素材の特徴を遊び方のキーワードで整理し、次の時間の活動につなげられるようにする。</li> <li>気付きが高まるように、坂道やうちわ、定規などの道具を準備しておく。</li> <li>特徴がつかめてきたら、次は組み合わせて遊ぶ</li> </ul>	思
	4	○遊びを通して発見したことや楽しかったことを交流して次にしたいことを見つける。 ◆いろいろな素材で試してみて、どんな発見があったかな。もっとやりたいことはどんなことかな。				知

		<p>空き缶は同じ大きさの缶をそろえると高く積めるよ。ゼリーのカップもそうみたいだね。</p> <p>箱はドミノにするんだったら、狭いところを下にして並べて、距離を狭くするとたくさん倒れるよ。</p> <p>空き缶を転がして見て、空き缶倒しをしたよ。坂道を転がすとスピードが速くなるし、缶によって速さが違うから、速い缶を探してる。</p> <p>トレーは風を当てると飛んだよ。遠くまで飛ばせると楽しいな。</p>	<p>など発展させる。</p> <p>㊦・物の形を捉える(算数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料を組み合わせる(図画工作)</li> <li>・気付いたことをカードに書く(国語)</li> </ul>	
ステップ2	5	<p>○動くおもちゃの仕組みに触れ、作りたいおもちゃへの思いを膨らませる。</p> <p>◆いろんな動きをするおもちゃがあるよ。どんな動きをするのかな。</p> <p>キャップが転がるからそれをうまく使ってタイヤにしてあるよ。キャップに穴をあけて、ひごとつなげるとうまく転がるんだね。</p> <p>カップにゴムをかけて重ねると、カップが跳ぶね。おもしろいな。よくとぶロケットを作りたいな。筒にゴムを引っ掛けたらどうなるかな。</p> <p>ガムテープの芯に電池をつけると、ゆらゆらするね。電池は転がるから、これをうまく使えば車も作れるかも。</p> <p>トレーに風を当ててそのトレーにキャップの車輪をつけたらおもしろい車ができそう。</p>	<p>㊦力を加えなくても「動く」ことのおもしろさや不思議さに着目できるようにする。</p> <p>㊦動きに興味を持ってない子どもには、教師が作った簡単な仕組みのおもちゃの原型を見せ、「遊んでみたい」「どんな仕組みになっているんだろう」をいう思いをもてるようにする。</p> <p>㊦道具を使って物を作る(図画工作)</p> <p>安全に注意して道具を使う(道徳)</p> <p>㊦改善方法が分からず困っている子どもには、「こんな方法もあるよ。」とヒントを示したり、「○○さんもやっているよ。」と声をかけて交流を促したりする。</p> <p>㊦よいところを伝え合い、友達のおもちゃのよさやがんばりを認め、自分のよさやがんばりに気付けるようにする。</p> <p>㊦主体的に活動できるように前時・本時とつながりのあるカードを作成し、子どもの思考を促し、次の活動につなげていけるようにする。</p> <p>！おもちゃ作りが発展してくる中で自然にルール作りや他の人と楽しみたいという発想が生まれてくるようにし、子どもの文脈や必然性を大切にする。</p> <p>㊦点数や回数を数えたり、記録したりする(算数)</p>	思
	6 7 8 9	<p>○自分の思いや願いに沿っておもちゃを作り、みんなで遊びを楽しむ工夫を考える。</p> <p>◆みんなで楽しく遊べる動くおもちゃを作ろう。</p> <p>キャップに穴をあけよう。ひごでつないだらタイヤになるよ。カップに切り込みを入れて、ゴムをひっかけるといいんだね。箱を使って、車を作ろう。ペットボトルでもできるかな。紙コップを重ねて、「びよんびよんガエル」にしよう。人の形を作ってつくと、ダンスしているみたいだね。</p>		思
	10	<p>○振り返りをし、工夫したことやもっとやりたいことを話し合う。</p> <p>◆おもちゃを作っている時にうまくいったことや、もっとこうしたいことを話しましょう。</p> <p>まっすぐ進まないなあ。でも、力は強いよ。筒を倒せそうだね。○○さんの車は、速く走るね。どうしてかな。もっと高く跳ばしたいけれど、どうすればいいのかな。○○さんのロケットは、高く跳ぶよ。どこが違うか教えてほしいな。ゴムを2本にしたら、よく跳ぶようになったよ。太いゴムも試してみよう。</p>		思
	11	<p>○遊びのルールを考えたり、遊びに使う物を工夫したりして、さらに楽しく遊べるようにする。</p> <p>◆どうやって遊んだらいいかな。</p> <p>車を走らせて、競争しよう。くねくねコースを作ったら楽しそうだね。</p> <p>高く跳べた方が勝ちにしよう。</p> <p>いろんな動きをするものを集めてゲームを作ると楽しいよ。人形を迷路に乗せて、磁石で動かしてみるとおもしろいよ。</p>		思

	<p>12 ○さらに工夫したことを試してみる。</p> <p>13 ◆いろいろ遊んでみてどうだったかな。もっとやりたいことはどんなことかな。</p> <p>いろいろ工夫したらもっと楽しくなることがわかったよ。友達の遊びがとっても面白かったから真似したいと思ったよ。もっとたくさんの人にこの遊びで遊んでもらいたい。</p> <p>14 ○5年生の人におもちゃを紹介して、1年生と一緒に遊ぶために、もっと楽しくする方法のヒントをもらう。</p> <p>◆1年生が楽しく遊ぶためには、どうしたらいいかな。</p> <p>ルールを見直そう。ゴールまで速く走った方が勝ちにしよう。点数をつけると楽しく遊べるね。線を越えたら、10点にしよう。</p> <p>15 ○5年生にもらったヒントをもとに、改良して遊んでみよう。</p> <p>16</p> <p>ルールを見直したら、結果が分かりやすくなった。説明が簡単になって分かりやすくなった。</p> <p>17 ○1年生を招待して、作ったおもちゃと一緒に遊ぶ。</p> <p>18 ◆1年生と一緒に遊んでどうだったかな。</p> <p>最初はうまくできなかったから、教えてあげたよ。坂道を使うと、1年生も楽しく遊べたよ。1年生が喜んでくれてうれしいな。</p>		<p>思</p> <p>知</p> <p>思</p> <p>知態</p>
<p>ジャンプ</p>	<p>19 ○これまでの活動を振り返る。</p> <p>20 ◆どんなことができたかな。もっとやってみたいことはあるかな。</p> <p>素材のひみつが分かったよ。動くおもちゃで1年生と楽しく遊んだよ。使えそうにないと思っていたものからこんなにすてきなおもちゃが作れるなんてすごいな。家の人にも教えたいな。もっと新しいおもちゃを作るよ。</p>		<p>知態</p>

7 本時について（14 / 20 時間目）

(1) 本時の目標

メディアを選択し、必要な情報を保存する。

(2) 展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>大じな ことを ほぞん しよう。</p> </div>	
<p>○めあてを知り、自分に合ったメディアを選ぶ。</p> <p>◆今日は、5年生がみんなのおもちゃで遊んで、アドバイスをくれる日です。アドバイスをどうやって覚えておきますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモする。</li> <li>・頭で覚えておく。</li> <li>・写真をとる。</li> <li>・ビデオをとる。</li> </ul> <p>◆自分にぴったりの方法を選びましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくはメモにする。</li> <li>・書くのが苦手だから動画をとりたい。</li> </ul> <p>○体育館に移動し、ブースごとに作ったおもちゃの用意をする。</p> <p>○5年生に遊んでもらい、評価やアドバイスをもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールが分かりにくいね。</li> <li>・この角度をもっと上げるといいね。</li> <li>・違うのと組み合わせてみたらどうかな。</li> </ul> <p>○5年生にお礼を伝え、5年生が退場する。</p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>◆今日はたくさんのアドバイスをもらえましたが、覚えられましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全部覚えてないけど、メモがとれた。</li> <li>・動画でとったから大丈夫。</li> <li>・</li> </ul> <p>◆次回は1年生への発表へむけて、今日のアドバイスを思い出して、手直ししましょう。</p>	<p>*動画や写真を撮るときには、相手に撮ってもいいか確認してからにすることを確認する。</p> <p>*時間の都合上、朝学習の時間にブースは用意しておく。</p> <p>◇5年生には事前に、評価の仕方やアドバイスについて指導をする。</p>



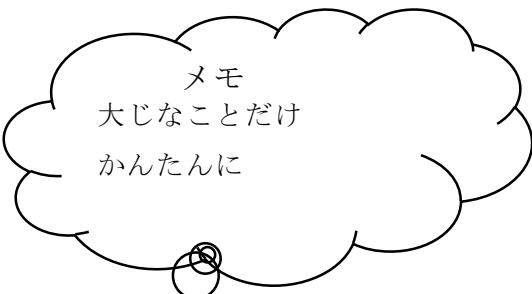
(3) 評価

<b>【知】</b>	自分の力にあった保存方法を選べる。 メモや GIGA 端末を使って、必要な情報を保存出来る。
<b>「おおむね満足できる」状況と判断できる「活動の様子」</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の力にあったメディア（メモ、GIGA 端末）を選んでいる。</li> <li>・必要な情報を保存できている。</li> </ul>	

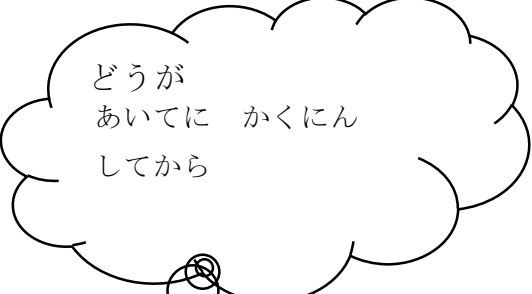
(4) 板書計画

あそんで ためして くふうして

④大じな ことを ほぞんしよう。



メモ  
大じなことだけ  
かんたんに



どうが  
あいてに かくにん  
してから

しゃしん

ひつような ときに

(5) 本時でつきたい情報活用能力

<b>活用スキル</b>	GIGA 端末のカメラアプリもしくは、筆記による情報の保存。	<b>活用場面</b>
--------------	--------------------------------	-------------

本単元では、身近な材料からいろいろな遊びを考え、より楽しくなるように工夫していく過程を大切にしている。

相互でアドバイスをし、よりよいものを作り上げていくことができればよいが、単級ということもあり、児童らの関わりは、話しやすい一定の友達に偏ってしまうことが予想される。また、思考が深まらず「面白いね。」と感想で止まってしまうことが考えられる。そこで今回は5年生の力を借り、様々なアイデアをもらえるように中間発表の場を作る計画をした。5年生にアドバイスされたことを次回に生かすためには、情報を保存しておく必要がある。

児童らはすでに、2つの方法で情報を保存することを学習している。一つは国語の「メモをとるとき」の単元。聞いた情報の大事なところをノートにメモをしておくことを学習した。もう一つは、生活科の「ぐんぐんそだて おいしいやさい」と「小さなともだち」の単元。GIGA 端末で写真を撮り、ロイロノートを使って写真を繋ぎ、コメントを手書きして保存した。また、国語の音読発表では動画の撮影も行っている。2学期からはフリック入力も学び、より多くの情報を入力できるようになっている。

今回は、選択肢として、GIGA 端末とメモ用のプリントを用意し、自分の力にあったメディアを選択させ、5年生の情報を上手に活用できるよう取り組む。

# 総合的な学習の時間「京都の魅力を発信しよう」指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 兼田 亮平

1 日 時 令和5年11月17日(金) 第2校時(9:40~10:25)

2 学年・組 第6学年1組(21名)

3 単元名 「京都の魅力を発信しよう」

## 4 単元の目標

京都で昔から大切にされてきた場所や生活様式、ならびに現代まで続く様々な文化や産業の様子について見学して取材したり書籍やインターネットを活用して調べたりすること、自分たちの考えを提案する等の活動を通して、世界中から人をひきつける「京都の魅力に」に気づき、地域の魅力やそれらを守り伝えることについて考えとともに、自分を育んだ土地への愛着とより魅力的な街へ発展できるように、生かしていくことができる。

## 5 内容と単元の評価規準

【探究課題】京都の魅力や歴史と関わる人々の思いや願い(地域の活性化)				
成を 目指す 資質・ 能力	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
		地域には、歴史や伝統があることやそこに携わっている人々の思いや願いがあることを知り、受け継がれていくことの大切さやこれから自分たちが創っていくことの大事さに気付くことができる。	地域の魅力について調査や体験から情報を集め、その情報を基に、比較するなどしながら整理・分析し、そこから練り上げた自分の考えをまとめ、発信することができる。	地域の歴史的背景や地域に携わっている人の思いや願いを自分なりに受け止め、地域と自分がどのように関わっていくかをこれからの生活の中で考え、実践しようとする。
単元 の 評 価 規 準	観点 過程	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	発見 過程 ／ 追 究 過 程	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都には歴史や伝統があることやそれらに携わる人々が存在することを知り、一つ一つの建物や行事などの存在意義について気付いている。</li> <li>地域の歴史や伝統を大切に守ったり、新たな視点で魅力を創出したりしている人々の思いや願いが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インタビュー活動から京都の魅力について考え、課題を設定している。</li> <li>専門家の話をめあてをもって聞き、地域の魅力について考えている。</li> <li>集めた情報を整理し、必要な視点を見つけ、地域の魅力を自分なりに表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族や街の人の話から京都の魅力についての自分の考えを見つめ直している。</li> <li>地域の魅力を調べる計画や活動を友達と協力して行い、疑問や課題を解決している。</li> </ul>
	提案 過程 ／ 熟 成 過 程 ／ 表 現 過 程	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的建造物や自然、人々の思いや願いなど、京都の魅力に気付いている。</li> <li>歴史や伝統などが受け継がれたり、新たな視点で魅力を創出したりしていく大切さを理解している。</li> <li>地域の魅力に興味をもってもらうための効果的な内容や表現、メディアの選択の仕方が分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の魅力や自分のお気に入りなどを探している。</li> <li>専門家や大人、友達のアドバイスを基に、自分の提案の改善点を整理・分析している。</li> <li>地域の魅力について分かりやすく伝える方法を考え、自分なりの根拠を基に、写真や言葉で表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家や大人、友だちのアドバイスを進んで聞き、さらに良い提案にしようとしていたり、表現内容や表現手段を見直したりしている。</li> <li>地域の活性化を願い、行事やイベントなどに自ら参加するなど、自分にできることを探し、実践しようとしている。</li> </ul>

探究の過程	学習の流れ	協働的な学び
<p>発見課題</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p>	<p>なぜ、多くの人たちが京都に来るのだろうか。 何か、魅力的なことがあるから京都に来るのだろうか。</p> <p>京都の魅力とは何だろう（5H）</p> <p>「京都の好きなところ」をインタビューで調べよう。 家族や親せきに尋ねてみよう 外国からの観光客に尋ねてみよう</p> <p>京都の魅力について考えよう。 歴史的建造物 世界遺産 歴史の舞台 伝統的なものや食 大学の街 ラーメン パン・喫茶店 日本初のものが意外と多い</p> <p>京都は歴史を感じられる場所や豊かな文化が体験できるなど、古くから続く「伝統あるもの」が魅力。それ以外にも大学生が人口の1割もいるなど、想像していたものと違う魅力もあるようだ。一つ一つの魅力を深く調べたいな。</p>	<p>○考えを広げる時やインタビュー結果をまとめるときには思考ツールで整理し、思考の過程を共有する。</p>
<p>追究課題</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p>	<p>京都の魅力を探ろう。（10H）</p> <p>課題に応じた方法で調べよう。 インタビュー取材をする 出前教室・伝統産業について</p> <p>インターネットで調べる 体験する 見学する 京都伝統産業ミュージアム見学 京都御所見学 西陣織会館見学</p> <p>パンフレットや書籍で調べる</p> <p>分かったことをもとに「京都の魅力」を考えよう 大学がたくさんあり、ノーベル賞受賞者も何人もいることがすごいと思う。 和菓子や西陣織などが人気だ</p> <p>同じ伝統産業でも、製品の魅力やそれを作る職人さんの技術、守り伝えようとする思いなど、人によって感じる魅力は様々だ。 お寺や神社の一つ一つが歴史的な価値を持っていたり、歴史的なできごとの舞台になっていたりするのが魅力だ。</p> <p>京都の魅力はたくさんあることが分かった。様々な角度のテーマで魅力を見つけられることができるし、一つのテーマの中にもいくつかの切り口がある。魅力を感じる場所に、もっと行きたいし、食べたり体験したりしたい。そして魅力を伝えたい。</p>	<p>○実際に見学したりインタビューしたりする。</p> <p>○分担して調べたことをもとに情報を整理する。</p>
<p>提案課題</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p>	<p>京都の魅力を伝えよう（6H）</p> <p>京都の魅力を伝え方を考えよう 伝える相手 伝えたい内容 実際に魅力的な場所に行ってみてほしい。</p> <p>魅力が伝わる「モデルコース」を作ろう。 自分たちが調べて気づいた魅力が伝わるコースを作ろう。</p> <p>伝えたい魅力のテーマを決めて、コースづくりをしよう。 条件に沿って内容を精選する</p> <p>実際に回ることができるのか、どんなものが見られるのかさらに調べよう。</p> <p>自分たちが調べて気づいた魅力が感じられるモデルコースができた。実際に行ってみよう。</p>	<p>○国語「みんなで楽しく過ごすために」と関わって、目的や条件に沿った話し合いができるようにする。</p>
<p>熟成課題</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p>	<p>魅力をより深く伝える方法はないかな（8H）</p> <p>詳しい人からアドバイスをもらおう 出前教室・これからの京都観光 自分たちの考えたコースやテーマをよりよくするアドバイスをもらった</p> <p>コースのリーフレットを作って情報を発信しよう。 市内巡りで訪れた時に、取材をしたい。 インターネットを活用して、他の小学生にも伝えたい。</p> <p>学校行事「市内巡り」で、自分たちが作ったコースを実際に訪れて検証する。</p> <p>リーフレットに掲載する情報を整理しよう 今まで調べたことから、情報を精選しよう。 現地を訪れた感想や、そこで撮影した写真なども掲載したい。</p> <p>伝えたいことがはっきりした。この魅力がしっかりと伝わるように、まとめよう。</p>	<p>○GIGA端末を活用して、共同編集する。（NHK for school「しまった」の視聴・活用）</p> <p>※学校行事「市内巡り」と関連付ける</p>
<p>表現課題</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p>	<p>京都の魅力を発信しよう。（4H）</p> <p>モデルコースとリーフレットを友だちと交流しよう。 思いをもって より分かりやすく伝えるために 相手意識</p> <p>京都の伝統や文化を守り伝えていくことは、私たちにとても大切なことだ。 相手意識をもって伝えることの大切さに気づいた。 京都の魅力を知り、他の国や地域の魅力も知りたいと思うようになった。</p>	<p>○作成したリーフレットは学校内で自由に手に取れるようにする。また、感想はFormsのアンケート機能を活用して集める。</p> <p>○学習を振り返り自分たちの成長を感じる。</p>

7 本時について

(1) 目標 京都の魅力を分かりやすく伝えるために、調べた情報を精選して表現している。

(2) 展開

○学習活動 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
<p>1. 本時の学習のめあてと活動内容を確認する。</p> <p style="text-align: center;">「京都の魅力」が伝わるように情報を<b>選び</b>書くことを決めよう</p> <p>2. リーフレットに書く記事の内容を選ぶ。</p> <p>○自分が調べてきたことを付せんに書出し、目的と条件に沿って掲載する情報を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市動物園の魅力は、たくさんの生き物が見られる、生き物とふれあえること、学べること、子どもが楽しめること、歴史があること、周辺施設が充実していることだと思う。見たり触れ合えたりする動物については写真とキャプションで伝えよう。子どもたちはそれを見て行きたくなるはずだ。学べる事を中心に記事を書くこう。きっと、親たちは子どもを連れて行きたくなるはずだ。</li> </ul> <p>3. リーフレットに書きたい内容を交流する。</p> <p>○決めた情報と選んだ理由を話し、助言しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな写真と言葉を使って、紅葉の美しさを伝えることにした。</li> <li>・清水寺の舞台を支える柱に一本も釘を使っていないことは、見るだけではわからないすごいところだから、記事に書くことにした。</li> </ul> <p>4. 振り返りをする。</p> <p>○伝える相手や紙面の大きさを意識して情報を選べたかをふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの情報があって迷ったけど、条件や目的を意識することで情報を選ぶことができた。</li> </ul>	<p>*前時までにはリーフレットの割り付けを決めておく。</p> <p>*伝える相手と紙面の大きさを意識して、情報を選ぶことが大切であることを確認する。</p> <p>◇京都市動物園を例にして情報の決め方を演示することで、学習の見通しを持てるようにする。</p> <p>*付箋紙とロイロノートを選べるようにする。</p> <p>㊦何を書いたらよいか決められない児童には、市内巡りで自分が感じたことを中心にして書くことよいことを伝えることで、書くきっかけをつかめるようにする。</p> <p>*どうしてその情報を選んだのか、理由を話すように指示する。</p> <p>*書き出した付箋を見て、他に書いた方がよいものがあれば助言するように指示する。</p> <p>*話し合いが終わったグループから、見出しを考え、共同編集で進めていく。</p> <p>*事前に視聴した「しまつた」を思い出して、共同編集の方法を確認する。</p>

(3) 評価

【思・判・表】	地域の魅力について分かりやすく伝える方法を考え、自分なりの根拠を基に、写真や言葉で表現しようとしている。
「おおむね満足できる」状況と判断できる「リーフレット・発言」	
自分が調べたり感じたりした「京都の魅力」の中から、伝える相手や紙面の大きさに合わせて情報を選び、写真や言葉で表現している。	

(4) 板書計画

京都の魅力を発信しよう

めあて「京都の魅力」が伝わるように**情報を選び**書くことをきめよう

伝える相手  
四錦の大人・子ども

紙面の大きさ

小見出しと本文  
写真とキャプション

【活動内容】

- ① リーフレットに書く  
情報を選ぶ 【個人】
- ② 情報を選んだ理由を交流  
 アドバイス 【グループ】

早G 見出しを考える (共同編集)

ICT活用 (大型テレビ)

動物園の魅力について考えた  
マンダラート  
(ロイロノートの画面)

<b>思考スキル</b>	情報を取り出す際にシンキングツールなどを用いて比較したり、関 連付けたりして再構成し、活用しやすいように情報を整理する。	<b>活用場面</b>
--------------	---	-------------

本単元は、今までに身に着けた情報活用能力を発揮する構成となっている。課題を発見する過程では、インタビューで取材をすること、取材で集めた情報を整理分析して「京都の魅力とは何か」について考えた。課題を追求する場面では見学などの直接取材に加え、書籍やインターネットを活用して情報を集めてきた。集めた情報を友だちに共有するためにまとめ表現する活動を行った。そして提案課題では「実際に足を運び、見て、触って、京都の魅力を感じてほしい」という児童の願いが実現できるツアー作りと魅力を伝えるリーフレット制作という方法で「京都の魅力」を伝えることにしている。完成したリーフレットは12月の個人相談会に合わせて本校の保護者に公開され、アンケート機能を活用して参加してくれた人からのフィードバックを受け取れるように計画している。

本時は、リーフレット制作の構想づくりと情報を選択する過程にあたる。児童の心の中には、追求する過程で気づき感じたたくさんの魅力があるはずだ。それらの魅力の中から「伝える相手」や「伝えるメディア」に合わせて情報を精選できる力をつけていきたい。国語科「鳥獣戯画を読む／日本文化を発信しよう」で学習した読み手を引き付けて納得させる工夫も生かして、魅力が伝わるリーフレットが完成することを期待している。本単元の学習を通して「情報の伝え方やその内容と表現を、情報の受け手に合わせて工夫する」ことが大切であることを感じられるようにしたい。

# 校内研究授業 指導案

# 第1学年・生活科 情報活用能力育成の学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 青井 杏実

1 日 時 令和5年6月22日(木) 第5校時(13:25~14:10)

2 学年・組 第1学年1組(30名)

3 単元名 さかせたいな わたしの はな

【内容(7) 動植物の飼育・栽培】

## 4 単元の目標

継続的に植物を栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物への親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。

## 5 指導計画

	時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価
ホップ	1	○花について、知っていることやこれまでの経験を出し合う。 ◆どんな花を知っているかな。 学校にチューリップが咲いているよ。幼稚園でパンジーとかいろいろな花を育てたことがあるよ。学校でも育ててみたいな。	!植物の種子をカードにかく。子どもの発達段階を考慮して、絵での表現を主とした形式のものとする。 ㊦子どもの話したことを教師が添え書きしてもよい。	思
	2	○育てる植物を決める。 ◆どんな花を育てたいかな。 お姉ちゃんがアサガオを育てていたから、私も育ててみたいな。花壇では、別の花を育てたいね。		態
ステップ1	3	○種まきの準備をする。 ◆種まきをするには、どんな準備が必要かな。 いい土を作らないと大きく育たないのだから。アサガオは植木鉢の場合、一鉢に3~4粒を深さ2センチくらいの穴に、一粒ずつ丸い方を上にしてそっと置き、軽く土をかぶせるとよいのだから。	㊦どんなものがよいか、子どもが話し合う機会を設けることで、これまでの経験や知っていることをクラスで共有しながら考えられるようにする。 ㊦黒土と腐葉土を混ぜる程度の簡単な土づくりの機会を設けることで、土の重要性に目を向けられるようにする。 !土を触った後は手を洗うなど衛生面の指導も行う。 ㊦鉢は子どもが毎日見ることが出来る場所に置くとよい。 ㊦管理用務員さんや地域の方などで詳しい人を「花の先生」になってもらうこともできる。	思
	4	○自分の花の種に合ったまき方で種をまく。 ◆どんなふうに種をまくとよかったかな。 種の向きや穴の深さに気を付けるのだったね。ふかふかの土になったよ。柔らかいベッドだね。  ○種まきをして気付いたことや思ったことを絵や言葉で表現する。 ◆これからどんなお世話をするとよいかな。 毎日お世話をするよ。水をたっぷりあげるよ。アサガオとお話するといって2年生が言っていたよ。		知

ステップ 2	<p>5 ○植物の成長について伝えあう。</p> <p>6 ◆世話をしている気付いたことはあるかな。</p> <p>7 毎日水やりをしないと元気がなくなるね。葉っぱに白い毛</p> <p>8 が生えていてちくちくするよ。最初の葉っぱと次に出てき</p> <p>9 た葉っぱの形が違うよ。つぼみがソフトクリームみたいだね。</p> <p>○栽培で困ったことや心配なことを話し合う。</p> <p>◆困っていることや心配なことはあるかな。</p> <p>葉っぱが多くてジャングルみたい。アサガオに聞いたら、「狭いよ。」と言っていたよ。お引越するといって2年生が教えてくれたよ。つるがのびて、隣の鉢に入ってしまうよ。お家の花壇にはお母さんが棒を立てていたよ。</p>	<p>☞毎日の世話を「けんこうかんさつ」と呼ぶなど、子どもが飽きずに活動を継続できるようにする。</p> <p>☞触ったり、友達の植物と比較したりするなど、様々な視点から観察できるように声をかける。</p> <p>☞成長の様子をカードに繰り返し記録し、大きな変化があった時はクラスで交流することにより、変化に気付いたり成長への期待をもったりできるようにする。</p> <p>㊦国語：「おおきく なった」</p>	知思
ステップ 3	<p>10 ○花の開花を記録するために、GIGA 端末でカメラの使い方を学習する。</p> <p>◆GIGA 端末でカメラを使おう。</p> <p>GIGA 端末で写真が撮れるようになったから、早く花を撮りたいな。</p> <p>11 ○花の開花について伝え合う。</p> <p>12 ◆咲いた花について、友達に伝えよう。</p> <p>ピンク色の花が咲いたよ。△△さんと違って僕のは青い花が咲いたよ。△△さんのは9つも花が咲いてるって。私はまだ3つだからこれからまだ咲くのかな。花が咲いた後はしぼんでクシャっとなるね。</p> <p>○開花して気付いたことや思ったことを絵や言葉で表現する。</p> <p>◆花が咲いている様子をかいて残しておこう。</p> <p>花がつつぎ咲いてうれしいです。でも、咲いた後は花がしぼんで悲しいです。しぼんだ花をよく見ているとちよつとずつ小さくなって花が落ちました。そのあと花の無くなったところがどんどん大きくなっています。種の赤ちゃんかなと思います。</p>	<p>☞開花の喜びをクラスで共有する。</p> <p>☞アサガオなどの一日花の場合は、毎日花が咲くので、その日に咲いた花の数を数える活動を行うとよい。</p> <p>☞開花後の変化にも気付けるよう、花がしおれた後の様子にも着目できるように促す。</p> <p>㊦花の数を数える。たし算をする。</p>	【情】活用スキル  知思
ステップ 4	<p>13 ○種子を収穫し、種子をどうしたいか考える。</p> <p>14 ◆種の数を数えてみよう。とれた種をどうしたいかな。</p> <p>15 僕の種は53個だったよ。また来年も育てたいな。来年の1年生にもあげたいね。</p> <p>○これまでの活動や自分のおもいについて振り返り、絵や言葉で表現する。</p> <p>◆植物を育ててきて楽しかったことや思ったことをカードにかいて残しておこう。</p> <p>私が毎日世話をしたからきれいな花を咲かせてくれたと思います。種もたくさんとれてとても嬉しかったです。「お花も種もありがとう。」って伝えたよ。</p> <p>配当外 ○枯れたつるをリースにしたり、花びらで色水遊びをしたりする。</p> <p>◆アサガオを無駄なく使おう。</p> <p>アサガオの花からこんなにきれいな色水ができるのだね。リースにしたらずっと大切にするよ。</p>	<p>☞種子ができたら、そのつど収穫するように促す。</p> <p>☞これまでの活動をまとめる時は、かきためたカードをじゃばら式に貼り合わせるとよい。植物だけではなく、そこに寄せる自分の思いもあわせて振り返ることができる。</p> <p>☞収穫した種子は来年の1年生などにプレゼントしてもよい。栽培の楽しさを伝えるため、手紙や観察記録を生かしたパンフレットを作ってもよい。</p> <p>☞枯れたつるをリースにするなどして、育てた植物全体を大切にしている気持ちをもてるようにするのも良い。</p> <p>㊦算数：種の数を数える。たし算をする。</p>	知思



ジャンプ	16	<p>○これまでの活動を振り返り、したことやもっとやってみみたいことなどを伝え合う。</p> <p>◆アサガオを育ててみて、できるようになったことやもっとやってみみたいことはあるかな。</p> <p>○○さんと相談したりしながら、ちゃんとお世話することができました。芽がなかなか出ないので心配しましたがたくさん花を咲かせてくれたお花にありがとうって思いました。とれた種をまた来年もまきたいです。一つの種からたくさんの種ができて、種には命が入っていると思いました。どんどん命が増えてずっとつながると思いました。</p>	<p>㊦じゃばら式に貼り合わせたカードや植物の成長の様子などを撮影した写真などを見ながら、これまでの活動を振り返り、巻末 (p145) のシールに、本単元でしたことやもっとやってみみたいことなどを書いて、ジャンプのページ (p43) に貼る。</p> <p>㊦植物を育てる楽しさを実感できるようにするとともに、これからも栽培活動に興味をもてるように支援する。</p>	態
もっとやってみたい	配 当 外	<p>○秋まきの植物から育てるものを決め、栽培する。</p> <p>◆春に向けて、どんな花を育てたいですか。</p> <p>秋から育てる花は色々あるのだね。種だけでなく球根もあるのだね。花が咲いた後はやっぱり種ができるのだろうか。球根はどうだろう。最後まで育てて見てみよう。</p>	<p>㊦写真を掲示するなどして、入学した時に学校に咲いていた花を思い出し、誰がそれを育てたのか考えるように促す。</p>	

本単元における教科目標の評価規準と記録に残す主な場面

- ・知 植物の変化や成長について気付いたことを表現している様子やカード【12・13・14時間目】
- ・思 植物の世話の仕方について考えている様子が分かる行動やカード【5・6・7・8・9時間目】
- ・態 進んで関心をもち、これからも積極的に花と関わろうとする発言【16時間目】

8 本時について（10 / 16 時間目）

(1) 本時でつきたい情報活用能力

<b>活用スキル</b>	GIGA 端末のカメラアプリを起動して撮影し、情報を集めることができる。	<b>習得場面</b>
--------------	--------------------------------------	-------------

本單元では、継続的に植物を栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物への親しみをもち、大切にしようとするようにすることを目標としている。継続的に写真で記録しておくことは、それらを元に植物の変化や成長に気付きやすくなると考えている。また、写真を見て絵を描くことは気づいたことをカードに表していく場面で児童の支援となるだろう。このように、花の観察記録をつけるために GIGA 端末のカメラアプリの使用と画像ファイルの読み出しという活用スキルを身に着けることが、本単元の活動を支える力となると考えている。また、本時で身に着けた活用スキルは、これからの学習を支える基礎的なスキルとして様々な場面で発揮していくことが期待される。

(2) 目標

GIGA 端末のカメラアプリを使って撮影し、情報を集めることができるようにする。

(3) 展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
<p>○あさがおからの手紙を読んで、カメラを使うことへの意欲を持つ。</p> <p>◆あさがおから手紙が届いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことが書いてあるのだろう</li> <li>・カメラを使えるようにならないといけない。</li> </ul> <p>○学習のめあての確認をする。</p> <p>◆今日はカメラの使い方について学習します。</p>	
<p><b>カメラでしゃしんをとろう。</b></p>	
<p>○GIGA 端末を使って、カメラアプリを起動する。</p> <p>◆まずはカメラの開き方を練習しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラアプリを開く練習をする。</li> </ul> <p>○カメラアプリで写真を撮る。</p> <p>◆自分の筆箱を撮影してみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上手に撮影できた。</li> </ul> <p>○カメラを使う時のルールについて確認する。</p> <p>◆カメラで写真撮影することができるようになりました。いつでも何でも撮影していいで</p>	<p>◇テレビでGIGA 端末の画面を共有しながら、指導するようにする。</p> <p>㊦テレビを見ながら起動・撮影が難しい児童には動作補助を行うようにする。</p> <p>*情報モラル・GIGA 端末の持ち運び方についての指導を行う。</p>

<p>しょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・撮ったらだめなものは撮らない</li> <li>・勝手に写真を撮るのは良くない</li> </ul> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>◆今日はカメラの使い方とルールを学習しました。やってみてどうでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかった。</li> <li>・朝顔も写真撮影してみたい</li> <li>・ルールを守って使おう。</li> </ul>	<p>*写真撮影の感想を共有すると共に、カメラを使う時の約束について振り返り、日常生活の中で継続的に取り組んでいくことを確認する。</p>
---	---

(4) 評価

<p><b>【知】</b></p>	<p>GIGA 端末のカメラアプリを自分で開くことができる。 カメラアプリを使って、撮影し情報を集めることができる。</p>
<p>「おおむね満足できる」状況と判断できる「活動の様子」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA 端末のカメラアプリを自分で開くことができる。</li> <li>・カメラアプリを使って、撮影し情報を集めることができる。</li> </ul>	

(5) 板書計画

さかせたいな わたしのはな

④かめらで しゃしんを とろう。

◎しゃしんを とるときの るうる

- ・かってに とらない
- ・ひとの かおを とるときは  
とつても いいか きく

(6) ICT 活用〈図1〉

大型テレビに児童用の GIGA 端末の画面を共有しながら指導する。

## 第3学年・社会科 情報活用能力育成の学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 高尾 悠也

- 1 日 時 令和5年9月20日(水) 第5校時(13:45~14:30)
- 2 学年・組 第3学年2組(19名)
- 3 単元名 わたしたちのくらしとはたらく人々 ~工場で作られるもの~
- 4 単元の目標

地域に見られる工場の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、工場の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

### 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ② 調べたことを白地図や文などにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。	① 工場の仕事の種類や工場の分布、仕事の工程などに着目して、問いを見だし、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ② 工場の仕事の様子と地域の人々の生活との関連を考え、表現している。	① 地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

### 6 指導計画

	時	○学習活動 ◆主な発問・指示 ・児童の反応	指導のポイント	評価
つかむ	1	○京都市(校区を含む)の工場マップを使って、工場の分布について知る。また先生の好きなものをクイズをもとに生八ッ橋に興味を持ち、じっくり観察する。 ◆実物の生八ッ橋を見て気づくことを見付け、原材料が何かを知ろう。 ・きれいな三角形をしているな。 ・もちもちしているな。 ・あんこが入っているな。 ・皮が薄いな。 ・皮の上にきなこが乗っているな。 ・米粉を使っているのだな。 ・小豆はあんこになるのだな。	・調べる活動の時に視点をもてるように、1万個作られるための原材料の仕入れ先や仕入れ方法について問う。 ・副読本P35のイラストなどを提示し、京都市にはいろいろなものが生産されていることやその生産場所などについて問題意識を高める。 ・実物の生八ッ橋を観察し、見た目や触った感じから気付	知① 思②

	2	<p>○工場で作られている生八つ橋と同じように粘土で自分たちでも作り学習問題を立てる。</p> <p>◆工場では、1日に生八つ橋が何個作られているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20分間で、34個できたから、500個くらいかな。</li> <li>・人気あるんだから、1000個くらい作られているんじゃないかな。</li> </ul> <p><b>学習問題</b> 京都みやげで有名な「生八つ橋」はどのようにしてたくさん作られているのだろうか。</p>	<p>いたことを交流し、学習問題につなげるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にアレルギーの確認をする。</li> </ul>	思①
	3	<p>○絵や文章で6コマ漫画をかき、生八つ橋の作られ方を予想する。</p> <p>◆たくさんのきれいな形の「生八つ橋」をどのようにして作っているのか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手だと時間がかかるから、機械を使ってそうだな。</li> <li>・皮を包むのは機械でするのは難しいと思うから人がしていると思うよ。</li> <li>・工場で働く人は、安全のために帽子やマスクをしていると思うな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想では、どこで・誰が(何が)・どのようにしてつくられているかを、予想した理由とともに、絵や文で具体的に表現し、調べる視点が明確になるようにする。</li> </ul>	態①
調べる	4	<p>○生八つ橋工場の生八つ橋本館でどのように作られているのか予想する。</p> <p>◆6枚の写真を基に、どのような作業をしているのか調べよう。また、どのような順で行われているのか予想しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんこを詰めるのは機械でやっているね。</li> <li>・トレーには人の手で詰めている</li> <li>・C、E、A、D、B、Fだと思うな。</li> </ul> <p>【どのような方法で調べると、夕子の作り方を確かめられるだろう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場見学に行く。</li> <li>・工場の人に聞く。</li> </ul> <p>○工場見学へ行った時の質問リストを作る。</p> <p>◆工場見学で調べることリストを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何人の人が働いているのですか。</li> <li>・どこから仕入れているのですか。</li> <li>・一日に何キログラムの原材料を仕入れているのですか。</li> <li>・お客さんに安心してもらうために髪の毛をすべて入れているのですか？</li> <li>・いつから生八つ橋はあったのですか？</li> </ul>		思①
	5・6	<p>○工場見学に行き、「生八つ橋」の作り方を調べる。</p> <p>◆工場見学で、たくさんのきれいな形の生八つ橋がどのように作られているのか調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一度にこねる生地の量がとても多かったよ。そうすることでたくさんの生八つ橋を作ることができるんだね。</li> <li>・あんこは生地の端に乗せるって聞いたけど、端に乗せると皮をかぶせると、ちょうど真ん中にあんこがきてきれいな形になるんだね。</li> <li>・人が確認をするまでに、機械でもセンサーを使ってゴミが入っていないか確認したり、エージレスが入っているかの確認をしたりしているんだね。安心安全のためだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような質問をすれば、学習問題を解決できるかという視点を児童が持てるようにする。</li> </ul>	態①
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場の様子やインタビューを写真や映像で撮影し、情報を収集しておく。</li> <li>・見学メモに生産工程や気付いたことを書き込めるようにする。</li> <li>・撮ってきた写真を使い、「生八つ橋」の作られる順番に配置する。また、見つけた工夫</li> </ul>	知①

	7	<p>○工場見学に行って、わかったことをまとめる。生八つ橋は、どのようなじゅんに番でつくられるのだろう。</p> <p>◆工場見学に行って、わかったことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械を使うことで、とても速くてたくさん作っていたね。</li> <li>・生地を作る、生地を伸ばす、生地を切る、あんこをのせる、皮で包む、トレーに詰める、防腐剤を入れる、袋をとじる、最後に確認をするという順番で、生八ッ橋が作られていたね。</li> </ul> <p>○工場ではたらく人は、どのような様子なのだろう。</p> <p>◆工場ではたらく人はどのような様子ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場内に入る前にも後にも、ごみがついていないかを確認しているね。</li> <li>・工場で働く人は、服装に気をつけたり、工場の中に入る時に消毒したりして、安心安全に作られていたな。</li> </ul>	<p>を書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発言を主に『生産量』と『品質』に関わる内容に分類して板書し、機械や人の働きの必要性や役割、商品へのこだわりなどを考えられるようにする。</li> </ul>	<p>知①</p> <p>知①</p>
まとめる	9	<p>○調べてまとめたことを基にして、学習問題について話し合う。</p> <p>◆京都みやげで有名な生八つ橋をどのようにしてたくさんつくっているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して商品を買ってもらえるように衛生面にとても気を付けてつくっている。たくさんつくるためには機械も必要だが、気温や湿度に合わせて工場の人が水の分量を変えたり、材料にこだわったりしながらおいしい生八つ橋ができるようにしている。だから、人気があるのだな。</li> </ul>		知②
広げる	10 ・ 11	<p>○地域の人々の生活との関わりについて考える。</p> <p>◆生八つ橋工場では、どうして季節限定の生八つ橋をつくっているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都に住んでいる人にも季節を感じてもらったり、よろこんでもらったりしたいのだね。</li> </ul> <p>○京都市にある様々な工場の種類や分布について調べる。</p> <p>◆京都市にはどこにどのような工場があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市には、『ごみ箱工場』『漬け物工場』『西陣織工房』など、ものづくりをしている様々な種類の工場や工房がいろいろなところにある。</li> <li>・いろいろなものがつくられて、それを私たちは使って生活しているのだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場で約 30 種類もの生八つ橋がつけられているのを理解した上で、それに加えて季節や月限定の生八つ橋をつくっていることを提示し、新たな問いへとつなげるようにする。</li> <li>・京都市の地図に、工場などの種類や場所を書き込み、京都市のいたるところに分布していることに気付かせるようにする。</li> </ul>	<p>思②</p> <p>知②</p>

本單元における教科目標の評価規準と記録に残す主な場面

記録に残す主な評価場面

- ・ 態① 「学習問題に対する働く人の様子や主な生産工程について具体的に予想した 6 コマ漫画や活動の様子」
- ・ 知② 「生産量や品質に着目した生産の順序や工程について記述したもの」
- ・ 思② 「生産の仕事と私たちの生活との関わりについて記述したノートや発言」

7 本時について（8 / 11 時間目）

(1) 目標

工場ではたらく人の様子を調べたり考えたりする活動を通して、工場ではたらく人は安心安全な生八つ橋を作ろうとしていることを理解する。

(2) 展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
<p>○資料を見て気づきを出す。</p> <p>◆資料を見て気づいたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食当番のような恰好をしている。</li> <li>・マスクをして、ぼうしをかぶっています。</li> <li>・商品に髪の毛などが入らないようにしていると思う。</li> </ul>	<p>◇どこを見ればよいかわからない児童には、○を見てみよう。など、見る視点を与える。</p> <p>* 資料からわかる事実のみではなく、児童の考えを引き出すために、どんなことを考えた？どんなことを思った？といったことも聞く。</p>
<p><b>工場ではたらく人は、どのような様子なのだろう。</b></p>	
<p>○工場ではたらく人はどのような様子か調べる。</p> <p>◆工場ではたらく人はどのような様子か、写真や文章見て調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場では、かみの毛やつばが入らないように、白色のぼうしやマスク、手袋をして作業している。</li> <li>・工場に入るときには消毒をしている。</li> <li>・工場に入った後も、ねん着ローラーでごみをとっている。</li> <li>・1日の作業が終わると、毎日機械を分解して一つ一つ機械を洗っている。</li> <li>・機械をつかって生八つ橋を作っているけど、人の手も必要だと思った。</li> </ul> <p>○工場の人たちがやっていることや気を付けていることがある理由について話し合う。</p> <p>◆なぜ工場の人たちはこんなに気を付けて仕事をしているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して商品を買ってもらえるように、衛生面に気を付けていると思った。</li> <li>・機械にもミスがあると困るから。</li> <li>・一つのごみがお客さんの信頼を落としてしまうから。</li> </ul>	<p>* はたらく人の様子とは、どんな服装か・どんな仕事をしているのか・どんなことを気を付けているのか、ということを目指す。</p> <p>* 初めの3分は資料と一人で向き合うが、その後の6分間は一人学び、二人学び、三人学びまでであれば、学習の仕方を選んでよいことにする。</p> <p>㊦何を見ればよいかわからない児童や、どの資料を見ればよいかわからない児童にはヒントカードを渡し、カードを見ながら学習を進めてもらう。</p> <p>* 買う人に安心して食べてもらえるようにするためだというのをおさえる。</p>

○本時の学習問題に対するまとめを話し合う。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場ではたらく人は、マスクやエプロン、ぼうし、手ぶくろをつけ、かみの毛などが商品に入らないように作業している。</li> <li>・お客さんに安心して商品を買ってもらえるように、衛生面に気を付けている。</li> </ul>	
○ふりかえりをかく。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全につくられた八つ橋を食べてみたいで</li> </ul> す。	

(3) 評価

<b>【知・技】</b>	写真や文章、映像などの資料を比較したり、対応させたりして工場の人の様子についての情報を取り出すことができる。
「おおむね満足できる」状況と判断できる「活動の様子」	
工場ではたらく人が、衛生的で、安全な商品づくりのためにしていることに気が付いている。	

(4) 板書計画

わたしたちのくらしとはたらく人々 ～工場で作られるもの～

学習問題  
工場ではたらく人は、どのような様子なのだろう。

気づき

- ・給食当番みたい
- ・マスク・ぼうし
- ・髪の毛に気を付けている。

写真

調べる

写真

写真

- ・かみの毛やつばが入らないようにしている。
- ・消毒
- ・ねん着ローラーでゴミをとっている。
- ・毎日機械を分解して一つ一つ機械を洗っている。

なぜ工場の人たちはこんなに気を付けて仕事をしているのでしょうか。

- ・安心して商品を買ってもらえるように、衛生面に気を付けていると思った。
- ・機械にもミスがあると困るから。
- ・一つのごみがお客さんの信頼を落としてしまうから。

まとめ

お客さんに安心して商品を買ってもらえるように、衛生面に気を付けている。

(5) ICT活用

大型テレビに児童用のGIGA端末の画面を共有しながら指導する。

(6) 本時でつけた情報活用能力

<b>活用スキル</b>	絵や写真、文章などの資料を比較したり対応させたりして情報を取り出す。	<b>活用場面</b>
--------------	------------------------------------	-------------

本単元では、地域に見られる工場の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して



て、工場の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養うことを目標としている。単元の中では、仕事の種類、仕事の工程、工夫などを見つける活動が行われる。そこで、絵や写真、文章、映像などの資料を比較したり対応させたりして情報を取り出す、という活用スキルを使いこなすことが、深い学びにつながっていくと考えている。比較・分類をすることは、社会科の学習で大切な見方・考え方である。この単元だけでなく、この活用スキルを様々な学習場面で取り入れて指導を進めていこうと考えている。

# 第4学年・国語科 情報活用能力育成の学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 池永 昌堅

1 日 時 令和5年10月19日(木) 第5校時(13:25~14:10)

2 学年・組 第4学年1組(25名)

3 単元名 伝統工芸のよさを伝えよう

## 4 単元の目標

- ◎事典の使い方を理解し使うことができるようにする。(知・技(2)イ)
- ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができるようにする。  
(思・判・表B(1)ウ)
- ◎目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるようにする。(思・判・表C(1)ウ)
- 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができるようにする。  
(知・技(3)オ)
- 進んで中心となる語や文を見付けて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって、調べて分かったことなどをまとめて書こうとすることができるようにする。

## 5 単元の評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
① 事典の使い方を理解し使っている。(2)イ ② 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ	① 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ② 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(C(1)ウ)	① 進んで中心となる語や文を見付けて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって、調べて分かったことなどをまとめて書こうとしている。

## 6 指導計画

指導計画例【指導のポイント ④手立て !配慮事項 ⑤他教科との関連 ⑥個別支援】

時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価観点
1 出会う	○学習の見通しをもつ。 ◆筆者の考えをとらえたり、調べたことを書いたりするとき、どのようなことに気を付きましたか。 ・「アップとルーズで伝える」では、段落どうしの関係に気を付けて読んだ。 ・「新聞を作ろう」では、伝えたいことの中心を明らかにして書いた。 [学習課題] 中心となる語や文を見付けて要約し、調べたことを書こう。	④P4「三年生の国語の学びを見わたそう」を参照する。	① 態①

追究・表現する	2	<p>○筆者の伝えたいことは何かを考えながら読み、文章の構成を捉える。</p> <p>◆筆者の考えが書かれている段落を見つけて、全体を「はじめ」「中」「終わり」に分けよう。</p> <p>・「このように」や「～とわたしは考えています。」と書かれているので、第10段落には筆者の考えが書かれている。</p>	<p>②「このように」「考えています。」といった言葉を手がかりにして筆者の考えが書かれている段落を見付けられるようにする。</p> <p>ICT デジタル教科書等を活用し、傍線を引いたり線で囲んだりした重要な語句や文をタブレットや電子黒板等に示して理由や考えを共有することもできる。</p>	思②
	3	<p>○筆者の考えの理由を探して読む。</p> <p>◆筆者は、考えの理由となることを二つ挙げています。それぞれの理由が説明されている段落を考えて「中」を二つのまとまりに分けましょう。</p> <p>・筆者の考えの中で使っている言葉に着目すると、二つのまとまりに分けられそうだね。</p>	<p>②「何を説明するためか」と「例」について表に整理し、筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係が明確になるようにする。</p>	思②
	4	<p>○筆者が「中」で挙げている事例についてまとめる。</p> <p>◆筆者は、何を説明するために、どのような例を挙げているのでしょうか。</p> <p>・和紙は破れにくく、長持ちすることを説明するために、正倉院に残っている和紙の例を挙げている。</p>	<p>②「何を説明するためか」と「例」について表に整理し、筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係が明確になるようにする。</p>	思②
	5	<p>○中心となる語や文を使って、200字以内で要約する。</p> <p>◆まとまりごとに中心となる語や文を確かめ、それを使って要約しましょう。</p> <p>・「はじめ」には、「より多くの人に和紙のよさを知ってもらい、使ってほしい」という筆者の考えが書かれているので、この部分は入れよう。</p>	<p>② P51「たいせつ」や上巻 P86「要約するとき」を参照し、要約のポイントを確かめられるようにする。</p>	思②
	6	<p>○伝統工芸のよさについて伝えるために、百科事典の使い方について知る。</p> <p>◆百科事典での調べ方について知り、調べてみましょう。</p> <p>・「つめ」や「はしら」を使って「見出し語」を探すのだね。</p> <p>・自分が調べた伝統工芸について、調べてみよう。</p>	<p>② P52「百科事典での調べ方」を参照し、意味が分からない言葉があっても、自分の力で調べられるようにする。</p>	知①
	7	<p>○調べたい伝統工芸について百科事典で調べたり本を探して読んだりし、伝統工芸のよさが書かれている部分を中心に要約する。</p> <p>◆伝統工芸のよさが書かれている部分から中心となる語や文を探して、内容を要約しよう。</p> <p>・「ジャカード織という技術で複雑なもようをつくることができる。」というのは、西陣織のよさだから要約するときに使おう。</p>	<p>② 要約してみて困ったことについても共有し、どのように改善するか具体的に考えられるようにする。</p>	知① 思②
	8	<p>○要約した文章を読み合い、要約の仕方や伝統工芸のよさについて感じたことを伝え合う。</p> <p>◆友達の要約の仕方や伝統工芸のよさについて感じたことを伝え合おう。</p> <p>・〇〇さんは、西陣織のよさを入れて要約していたので、私も調べてみたくなった。</p> <p>・伝統工芸は、今の時代に合わせて進化しているので、みんなに親しまれているのだね。</p>	<p>② 「要約のしかた」「内容」の二つの視点で伝え合うことで、伝統工芸により興味をもち、リーフレット作りに生かすことができるようにする。</p>	態①
	9	<p>○リーフレットを作る見通しをもち、調べたいものを決める。</p> <p>◆身近な地域にはどのような伝統工芸があるのか調べ、興味をもったものを選ぼう。</p> <p>・詳しく調べて整理し、組み立てと資料の使い方を考えてリーフレットを作って読み合うのだね。</p>	<p>② P53「学習の進め方」P56-57の作例を参照し、見通しをもてるようにする。</p>	態①
	10	<p>○選んだ伝統工芸について詳しく調べ、分かったことを書き出す。</p> <p>◆本や資料を選んで読み、分かったことを書き出そう。</p> <p>・「博多おり」は、絹織物なんだ。「絹織物」について、百科事典で調べてみよう。</p>	<p>② ジュニア京都検定のテキストを参考にするとよい。</p> <p>② P54「目的に応じた資料の選び方」を</p>	知②

	<p>12 ○書き出したものを整理する。 ◆友達に伝えるのにふさわしい理由や例を選ぼう。</p> <p>・「着物の帯」「ゆるみにくい」「ほどこやすい」「じょうぶ」は、「使いやすさ」のところに整理できるね。「使いやすさ」は、博多織の魅力だから、リーフレットに入れよう。</p> <p>13 ○資料の使い方を考え、文章構成表をつくり、友達と読み合う。 ◆どうすれば分かりやすく説明できるでしょうか。</p> <p>・「中」では、「使いやすさ」と「美しさ」の2つの魅力について書こう。 ・細かい幾何学模様の写真を使えば、「美しさ」がより伝わるのではないかな。</p> <p>14 ○調べたことを説明する文章を書く。 15 ◆考えた組み立てに沿って調べたことを説明する文章を書こう。</p> <p>・「はじめ」「中」「終わり」の組み立てを意識して、伝統工芸のよさが伝わるように資料を使って書こう。 ・参考にした本は、出典として文章の終わりにまとめよう。</p> <p>16 ○表紙や裏表紙を作り、読み直してリーフレットを仕上げよう。 ◆文章を読み直し、分かりにくいところがないか確かめましょう。</p> <p>・魅力である「使いやすさ」「美しさ」に関係のない文があったから削ろう。</p> <p>17 ○リーフレットを読み合い、文章の書き方について伝え合う。 ◆友達と読み合って、分かりやすく書けているところを伝え合おう。</p> <p>・伝えたいことに合った例を選んでるので、西陣織の魅力である「美しさ」がよく分かる。</p>	<p>参照し、必要な本や資料を使えるようにする。</p> <p>☞P54「よさについてまとめた例」を参照し、付箋を用いて分かったことを整理できるようにする。</p> <p>☞P55「組み立ての例」とP56-57の作例を結び付けて読み、自分の書く文章の組み立てや資料の使い方を考えられるようにする。</p> <p>☞P56-57の作例やP56「たいせつ」を参照し、理由や事例と、伝えたいこととの関係が分かるようにする。</p> <p>☞裏表紙には、産地や施設の情報、豆知識などから選んで書くようにする。</p> <p>☞P56「たいせつ」を参照し、視点を決めて文章の書き方について伝え合えるようにする。</p>	<p>思①</p> <p>思① 態①</p> <p>思①</p> <p>思①</p> <p>態①</p>
生かす	<p>18 ○学習を振り返る。 ◆要約するときや調べたことを書くときにどのようなことに気を付けましたか。</p> <p>・筆者の考えが書かれている部分を入れて要約した。 ・伝えたいことにぴったり合った例を挙げて書いた。</p>	<p>☞「たいせつ」「いかそう」「ふりかえろう」で身に付けた力を確認するようにする。</p> <p>☞伝統工芸に対する興味・関心を促し、その理解を図る題材(社会科・総合的な学習の時間)</p>	<p>態①</p>

記録に残す主な評価場面(例)

- ・思②「中心となる語や文を使って要約したノート」【5時間目】
- ・知①「百科事典の使い方を理解し使っている姿」【6時間目】
- ・思①「組み立てに沿って書いた文章」【15時間目】
- ・態①「分かりやすく説明するための文章構成表を作っている姿」【13時間目】
- ・併せて確認(ペーパー)テストを実施し、評価資料として活用する。

7 本時について（12 / 18 時間目）

(1) 本時でつきたい情報活用能力

<b>活用スキル</b>	書きだしたキーワードを、シンキングツールを使って整理する。	<b>活用場面</b>
--------------	-------------------------------	-------------

本單元では、中心となる語や文を捉えて要約するという、説明文での学習で身につけたい力をいかし、伝統工芸に関して本などで調べたことをまとめてリーフレットを作る学習を行う。単元のゴールにリーフレット作りを設定しているのので、説明文をどのように読み、そこで得た知識をどうかすか、百科事典や本などから情報をどのように得て、整理し、自分の書くものに用いていくかなど、目的をもって学習に取り組み、主体的・対話的な学習を行うことが期待できる。また、調べ学習をしながら書きだしたキーワードを、シンキングツールを使うことで分類しながら整理することで、情報を取捨選択できる力も身につけさせたい。本時で身につけた活用スキルは、これからの学習を支える情報活用能力として様々な場面で発揮していくことが期待される。

(2) 目標

書きだしたキーワードを、シンキングツールを使って整理することで、相手や自分の意図に合った情報を選択できる。

(3) 展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
<p>○めあてを確認する。</p> <p>◆今日は調べ学習をしながら集めたキーワードを、シンキングツールを使って整理しましょう。また、どの情報をリーフレットに載せるのかを選びましょう。</p>	<p>*めあてを確認し、今日学ぶことを明確にする。</p>
<p>キーワードを整理して、リーフレットに載せる情報を決めよう</p>	
<p>○教師の見本を見て、今日の活動の見通しをもつ。</p> <p>◆先生が今日することの見本を見せるので、「この後自分もするんだ」と思いながら見ておきましょう。</p>	<p>◇児童が活動を進められるようにするために、教師が見本の姿を示すようにする。</p>
<p>○シンキングツールを使って、自分が集めたキーワードを整理する。</p> <p>◆それでは、自分もシンキングツールを使ってキーワードを整理してみましょう。</p>	<p>㊦机間巡視をしながら、困っている子にはまず先にジャンルを作ればよいことを伝えたり、一緒に整理したりする。</p>
<p>○リーフレットに載せる情報を取捨選択する。</p> <p>◆それでは、自分が調べた伝統工芸の魅力が十分に伝わる情報はどれでしたか。</p>	<p>㊦決めるのが難しい児童には、一緒に考えたり、自分が伝えたいものを選んだりすればよいことを伝える。</p>

(4) 評価

<b>【思①】</b>	シンキングツールを使って、書きだしたキーワードを整理することができる。整理した情報から、伝統工芸の魅力が伝えられる情報を取捨選択している。
<b>「おおむね満足できる」状況と判断できる「活動の様子」</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・シンキングツールを使って、キーワードを整理している。</li><li>・自分がリーフレットに載せたい情報を取捨選択している。</li></ul>	

(5) 板書計画

伝統工芸のよさを伝えよう 書きだしたキーワードを、シンキングツールを使って整理しよう。	<p>ロイロノート左↓シンキングツール</p> <p>↓クラゲチャート</p> <p>◎クラゲを作りましょう</p> <p>◎クラゲができれば、どのクラゲをリーフレットに使うのか決めましょう。</p> <p>【決めるときは・・・】 伝統工芸のみ力が十分伝わるものを選びましょう。</p>
--	---

(6) ICT活用〈図1〉

大型テレビに教師の例を示し、今日の活動の見通しをもたせる。

# 第5学年・算数科 情報活用能力育成の学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 大西 潤一

- 1 日 時 令和5年1月18日(木) 第5校時(13:25~14:10)  
 2 学年・組 第5学年2組(19名)  
 3 単元名 わくわく算数広場 算数ラボ

## 4 単元の目標

- (1) 正多角形の意味と性質を理解し、直進と回転の命令を組み合わせて、正多角形を作図するプログラムを作ることができるようにする。  
 (2) 正多角形の外側の角に着目すればよいことに気づき、回転する角の大きさを考えることができるようにする。  
 (3) プログラムを作ることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

## 5 指導計画

時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価
1	<p>○直進と回転の命令を組み合わせて、正多角形を作図するプログラムを考え、説明する。</p> <p>◆図形をかくプログラムをつくろう。</p> <p>・まっすぐに4cm進む、左に90度回る、を繰り返すと正方形がかけました。</p> <p>・正三角形をつくる時、60度回すとうまくかけませんでした。</p> <p>・キャラクターが進んでいる方向を向き、そこから何度回転させれば良いかと考えれば良いと思います。</p> <p>・正三角形の1つの角は60度なので、回転させる角度は<math>180 - 60 = 120</math>で120度になることが分かりました。</p> <p>・コンピュータを使うと、こんなにも速く正確にかけると知りました。</p>	<p>㊦ プログラムを作ることに関心を持ち、いろいろ試しながら取り組んでいけるようにする。</p> <p>㊦ 回転する角度に着目すればよいことに気付けるようにする。</p> <p>㊦ 円と正多角形の学習を基に、プログラミングの体験を通して、いろいろな正多角形がかけることに気付けるようにする。</p> <p>㊦ 「プログラミング教育スタンダード」参照</p> <p>・単元「14 円と正多角形」の後に学習する。</p>	知①

### 記録に残す主な評価場面

- ・ 態① 「正方形のかき方をいろいろ試しながら取り組んでいる様子」【1時間目】
- ・ 知① 「正多角形を作図するプログラム」【1時間目】
- ・ 思① 「試行錯誤しながら、回転する角の大きさを考えて作成したプログラムやノート」【1時間目】

8 本時について（1 / 1 時間目）

（1）本時でつきたい情報活用能力

<b>活用スキル</b>	コンピュータを用いて、4 cm進むとはどのような動きをするのか、90度回るとはどのような動きをするのかなど、命令と実際の動きを確かめながら、試行錯誤し、理解できるようにする。	<b>習得場面</b>
--------------	---	-------------

本單元では、プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に着けるための活動を行う。コンピュータを用いて、それらがもつ機能を効果的に活用することによって、数量や図形についての感覚を豊かにしたり、表現する力を高めたりしていくことが期待できる。また、算数化でプログラミングを体験する中で、問題の解決には必要な手順があること、正確な繰り返しが必要な作業をする際にコンピュータを用いるとよいということにも気づかせたい。本時で身に着けた活用スキルは、これからの学習を支える情報活用能力として様々な場面で発揮していくことが期待される。


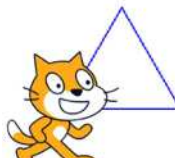


（2）目標

正多角形の意味と性質を理解し、直進と回転の命令を組み合わせて、正多角形を作図するプログラムを作ることができるようにする。

（3）展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
<p>○既習事項の確認をする。</p> <p>◆正多角形の一つの角は何度ですか。</p> <p>・三角形は 60 度。</p> <p>◆一辺が 4 cm の正三角形を作図しましょう。</p> <p>○本時の問題を知り、めあてを確認する。</p> <p>命令を組み合わせて、正多角形の辺に沿ってキャラクターを動かすときのプログラムをつくりましょう。</p>	
<p><b>スクラッチを使って、いろいろな正多角形を書こう。</b></p>	
<p>○スクラッチを起動し、キャラクターを動かしてみよう。</p> <p>○正方形の辺に沿って動かすプログラムを確認する。</p>	<p>◇テレビでギガ端末の画面を共有しながら、指導するようにする。</p> <p>◇「ペンをおろす」「○歩動かす」「○度回す」「全部消す」のプログラムを確認しておく。</p> <p>◇キャラクターの歩数は 100 歩で統一する。</p> <p>㊦ 正方形の一つの角度を確認する。</p>



<p>○正三角形の辺に沿って動かすプログラムを考える。</p>	<p>【正しいプログラム】</p>   <p>【正しくないプログラム】</p>   <p>*誤答を取上げ、なぜ「60 度回す」では書けないのかを確認する。</p> <p>*回す角の大きさにはきまりがあることに気づかせ、確認する。</p> <p>◇表を使うことで、回す角の大きさのきまりをみつけられるようにする。</p>
<p>○正五角形や正六角形の辺に沿って動かすプログラムをつくる。</p> <p>◆回す角の大きさは何度にすればよいですか。</p> <p>○まとめを確認する。</p>	<p>正多角形の辺に沿って動かすプログラムをつくるには、 「回す角の大きさ=360 度÷繰り返す回数」で回すと書くことができる。</p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>◆プログラムをつくって作図することのよさは何ですか。</p> <p>*プログラミングを使って作図することで、速くて正確に作図できることや繰り返しや修正が楽にできることに気づけるようにする。</p>

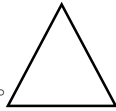
(4) 評価

【知】	正多角形の意味と性質を理解し、直進と回転の命令を組み合わせ、正多角形を作図するプログラムを作ることができる。
「おおむね満足できる」状況と判断できる「活動の様子」	
正多角形の意味と性質を理解し、直進と回転の命令を組み合わせ、正多角形を作図するプログラムを作ることができる。	

## (5) 板書計画

### 算数ラボ

一辺が 4 cm の  
正三角形を書きましょう。



□命令を組み合わせて、正多角形の辺に沿ってキャラクターを動かすときのプログラムをつくりましょう。

☑**めあて** スクラッチを使って、いろいろな正多角形をかこう。



①  
正方形をかこう。



③  
正五角形や正六角形を書こう。



②  
正三角形をかこう。



④ 回す角の大きさのきまりをみつけよう。

正多角形	正三角形	正方形	正五角形	正六角形
角の数	3	4	5	6
回す角の大きさ(度)	120	90	72	60

なぜ、60 度回すと  
書けないのだろう。

☑**まとめ** 正多角形の辺に沿って動かすプログラムをつくるには、「回す角の大きさ=360 度 ÷ 角の数」でくり返すとかくことができる。

## (6) ICT 活用

大型テレビに端末の画面を共有しながら指導する。

## 生活単元学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 西山大輝

1. 日 時 令和6年2月15日(木)第5校時(13:25~14:10)
2. 学 年 育成学級 3組(1年1名 3年2名 5年3名)
3. 単元名 3組新聞を書こう
4. 単元の目標
  - 先生や友だちの話をよく聞いて、活動に参加できる。
  - 相手や目的を意識して、アンケートの集計結果から書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。
  - 相手や目的を意識した新聞記事になっているか確かめ、文や写真などの表し方を工夫している。

### 5. 単元の評価規準

#### 【知識・技能】

相手や目的を意識して文章や写真など、伝えたいことを選んでいく。

新聞の、内容について、順序や割り付けを考え、文で表現しようとしている。

#### 【思考・判断・表現】

作成した新聞記事をふりかえり、相手により伝わりやすくするための改善点を考えていく。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

先生や友だちの話をよく聞いて、意欲的に活動に参加している。

### 6. 単元について

#### (単元)

育成学級の児童は、自分の思いや考えを伝えることを進んで行う。日常でのコミュニケーションではよく話す姿が見られたり、交流学習の学習発表会では、グループで協力して発表をしたりすることができている。言葉での表現が難しい児童も目や表情を使ったり、短い言葉を使ったりして相手に思いを伝えている。

コミュニケーションの場面では、自分の思いを一方向的に伝えることがあり、相手の話をよく聞くことや相手の気持ちを考えて発言することについては課題が多い。そのため、相手意識をもち、会話のキャッチボールができる力を育みたい。

これまで、『5W1H』を使って話したり、書いたりする活動や、発表に向けて原稿を作ること、四錦小ホームページに載せる記事を書くことなど様々な表現活動に取り組んできた。そこで本単元では、読み手が知りたい情報に合わせて記事や写真を用意し、相手意識をもって新聞を作る学習を行うこととした。Formsを使ったアンケートを交流学年に向けて実施し、「3組について知りたいこと」をたずねる。質問項目も育成学級児童が考えるようにし、質問を考えながら3組の魅力についてふりかえられるようにしたい。アンケート結果から特に知りたいとされる情報を児童等で集め、どの情報を使って新聞を書くか決めていく。新聞を作る際には、記事や写真の割り付けや文章の内容など見返して、よりよくするために思考する場面も設けたい。活動を通して自分たちのクラスの魅力的なところを改めて実感できる学習を目指していきたい。

## 7. 本時のねらい

伝わりやすい新聞記事を作るために、情報を集める。集めた情報を精査し、新聞の割り付けを考える。

A児	集めた情報の中から伝えたいものを選ぶ。
B児	集めた情報の中から伝えたいものを選び、どんな新聞にするのかを具体的にイメージをしながら割り付けを考える。
C児	集めた情報の中から伝えたいものを選ぶ。
D児	集めた情報の中から伝えたいものを選び、どんな新聞にするのかを具体的にイメージをしながら割り付けを考える。
E児	自分の伝えたいことの情報を集める。
D児	集めた情報の中から伝えたいものを選ぶ。

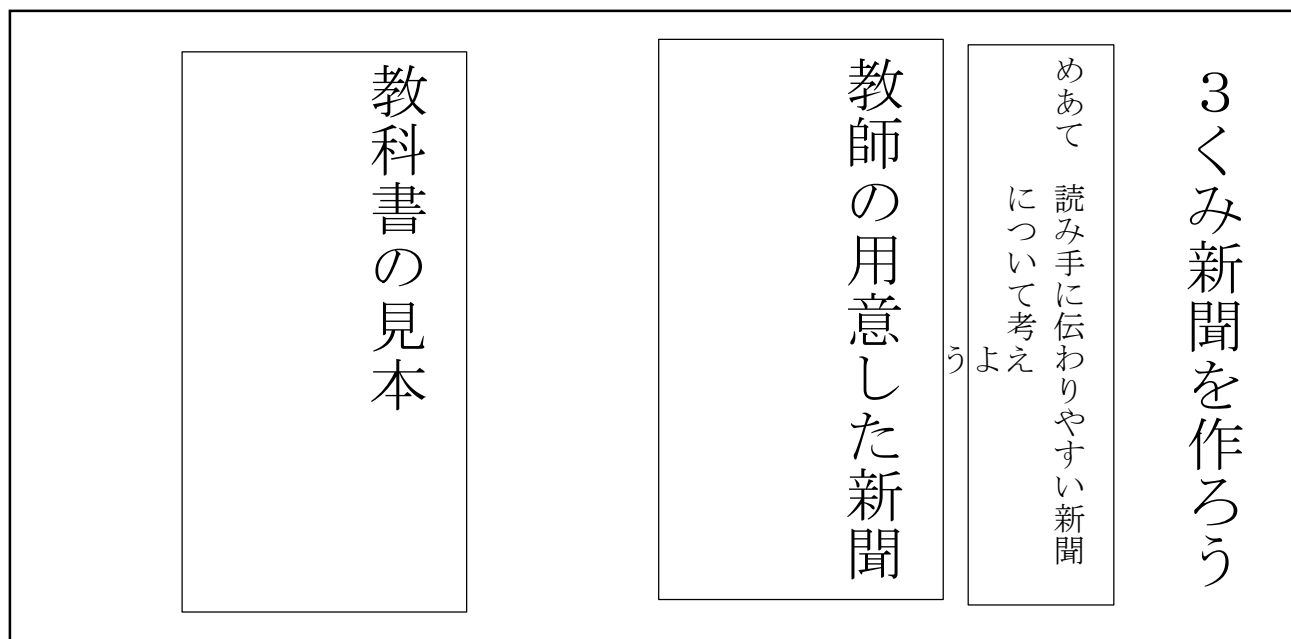
## 8. 指導計画（全8時間）

時	主な学習活動	活動のポイント
1	活動計画を立てる。	事前に児童に向けて実施していた「3くみのせんせいのもっと知りたいことアンケート」の結果をもとに、指導者が作成した新聞を読むことで、活動のゴールをイメージできるようにする。新聞の魅力や読み方を学習し、どんな新聞を作りたいか考えられるようにする。
2	アンケートを作る。	交流学年に3くみのどんなことに興味を持ってもらいたいか考え、アンケート内容を考える。また、交流学年にアンケートの説明をする資料を用意したり、説明の練習をしたりする。
3・4	記事にする内容を考える。	アンケート結果をもとに記事にする内容を考える。記事を書くために必要な情報を集める。
5(本時) ・6	集めた情報を整理する。	集めた情報の中から、特に伝えたいことを選び、記事の割り付けを考え、原稿を書く。
7	新聞作りをする。	準備した写真や原稿を使い、新聞の作成をする。
8	発表の練習をする。	新聞記事をもとに、相手意識を持ちながら練習するようにする。クラスメイトに発表を聞いてもらい、互いにアドバイスをし合う。
9	発表をする。	帯学習で交流学年に発表をする。 保護者に向けて発表をする。 発表が難しい場合にはビデオ発表をする。

9. 本時の学習

		学習における留意点	I C T活用	評価の視点
導入	○教師が作成した新聞と、教科書の新聞の見本を見比べて、読者に伝わりやすい工夫について考える。	◎教科書の見本は見出しが大きく表されていることや、伝えたいことに合わせて記事の大きさが違うことなどに着目できるようにする。		
めあて 読み手に伝わりやすい新聞について考えよう。				
展開	○各学年に分かれて、集めた写真や記事などを紹介し、集められた資料を見て、新聞の割り付けを考える。  ○考えた割り付けをクラスの友だちに発表をする。	◎自分が準備した資料にこだわらず、友だちの集めた資料にも関心を持ち、一緒に新聞を作ることを理解できるように声かけをする。  ◎発表をもとに友だちの割り付けの良さや改善点について話し合う。	電子黒板	<b>【知識・技能】</b> 相手や目的を意識して文章や写真など、伝えたいことを選んでいく。新聞の、内容について、順序や割り付けを考えていく。(行動観察)  <b>【思考・判断・表現】</b> 作成した新聞記事をふりかえり、相手により伝わりやすくするための改善点を考えていく。
まとめ	○改善をした割り付けを全体で交流をする。	◎どうしてその改善をしたのかについて触れ、自分なりの伝わりやすい表現について振り返られるようにする。		

10. 板書計画



## 第四錦林小学校

# GIGA 端末活用の指導事例

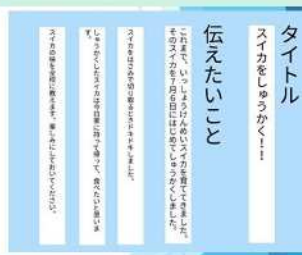
【育成】生活単元学習「学校ホームページの記事を書こう」	46
帯学習など「プログラミング的思考を育む学習アプリ」	47
【1年】生活科「さかせたいな わたしのはな」	48
図画工作科「によきによき とび出せ」	49
【2年】生活科「ぐんぐんそだて おいしいやさい」	50
国語科「雨のうた」	51
【3年】総合的な学習「吉田のステキを見つけよう」①②	52
【4年】国語「新聞を作ろう」	54
算数「1億をこえる数」	55
外国語活動「Unit5 Do you have a pen?」	56
【5年】国語科「みんなが過ごしやすい街へ」	57
社会科「ロイロノートを活用したまとめノートの作成」	58
【6年】国語科「わたしたちにできること」	59
図画工作科「学習のふりかえりをする場面での活用」	60
総合的な学習「京都の魅力を発信しよう」	61

GIGA スクール構想がスタートしてから今までに GIGA 端末を活用した授業実践を数多く行ってきた。昨年度からその実践事例を報告書にまとめ保存し活用できるようにしている。報告の様式は、全市で共通している実践報告と同じにすることで GIGA スクール構想推進主任を通して全市に発信しやすくなるよう工夫をしている。また、報告書作成の時間は校内研修日に設定し負担感を減らせるよう配慮している。

# 学習

## 【小学校 生活単元学習】 育成5年『学校HPの記事を書こう』

・日常の中で集めた写真から伝えたいことを記事にする。



**文章を作り上げる力・・・**  
自分の伝えたいことを選び、1から文章を書いていくことが難しい。手書きやタイピングをすることもストレスになる



**【効果UP】【効率UP】**  
・文章を書く際は代筆をし、児童が内容を考えることを重視した。思考する時間を増やすことができた。ロイロノートで短冊化させることで、伝える順番を変えやすい。

## 【小学校 生活単元】 育成5年『学校HPの記事を書こう』

≪事前準備≫  
児童の学習や行動の記録を写真で残しておく。

≪学習展開≫  
**活動①**  
数ある写真の中から記事にしたいことを決める。

**活動②**  
4文ほど考え、ロイロノートに短冊として作る。

**効果UP**



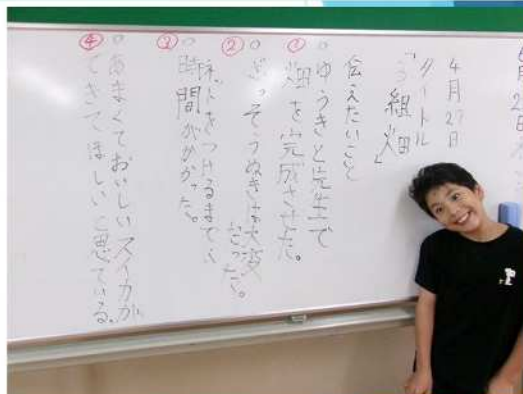
読み手に伝わりやすい構成を考えることで、目に見えない他者を意識することができた。

## 【小学校 生活単元】 育成5年『学校HPの記事を書こう』

≪学習展開≫  
**活動③**  
読み手に伝わりやすいよう、文の順番を決めることなど構成を考える。  
**活動④**  
文全体を読み返して、内容や言葉遣いなどを見直す。

**効果UP**

**効率UP**



今後、自分自身で文を書いていくことも視野に入れている。インターネット検索やかんたんな文字入力の際に音声入力を使っている。活動を続けて児童に文章力を獲得させたい。



## プログラミング的思考を育む学習アプリ

「グリコードメーカー」

「ピコピコメーカーEX」

「ピタゴラン」



「失敗」が苦手  
失敗をするとやる気をなくす  
失敗をすると怒る  
失敗が次に繋がらない

【効果UP】【効率UP】  
・失敗」があたりまえに起こるアプリ  
一筋縄ではいかないところがGood  
自分の作りたいステージを実現するために思考できる

## 帯学習や授業後のちょっとした時間に…

先生も一緒になってする

児童が作ったステージに先生が挑戦してみる

先生が作ったステージに児童が挑戦してみる

効果UP



プログラムのエラーにすぐさま気付くことができる。

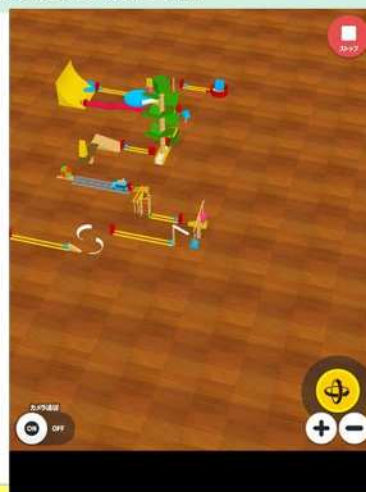
## プログラミングがむずかしい実態の児童は…

『ピタゴラン』

指でなぞってコースをつくり  
タップ一つでギミックを設置するだけ

かんたんに  
「ピタゴラスイッチ」的な装置が作れる

効果UP



プログラミングの入口にちょうどいいアプリ 1年生も取り組んでいます

# 学習

## 【小学校 生活科】 1年『さかせたいな わたしのはな』

・育ててきたあさがおの花を写真で記録する。



今までは・・・

あさがおを観察カードで記入していた。絵を描くことが苦手な児童がいる。



【効果UP】 【効率UP】

・「花をきれいに撮影したいから、カメラをきちんと使えるようになりたい」と意欲向上につながる。  
・絵が苦手な児童も記録することができる。

## 【小学校 生活科】 1年『さかせたいな わたしのはな』

《事前準備》

電源・ログインをひとりで行えるようになる。

《学習展開》

活動①

カメラの使い方を学習する。

活動②

実際にあさがおの花を写真で撮る。

活動③

撮影した写真を使って友だちと交流する。



**効果UP**

イラストでなく、写真のため個人差が少なく分かりやすい。  
友だちと写真を見せ合って交流することができる。  
アップができるので細かなところも見る事ができる。

# 学習

## 【小学校 図画工作科】 1年『によきによき とび出せ』

作った作品を写真で撮り、作品カードを作成する。



今までは・・・

工作を教室に展示しておく必要があった。



【効果UP】 【効率UP】

- ・ 作品を持ち帰った後も、作品カードで振り返ることができる。
- ・ 頑張ったところや工夫したところの紹介と一緒に掲示することができる。

## 【小学校 図画工作科】 1年『によきによき とび出せ』

≪事前準備≫

ロイロノートの使い方の指導。

≪学習展開≫

活動①

「によきによき とび出せ」の作品を作る。

活動②

ロイロノートで、作品カードを作成し、提出する。



**効果UP**

作品を持ち帰った後も、作品カードを掲示しておくことで、いつでも振り返ることができる。動く作品は、動画として残すことができる。

# 学習

## 【小学校 生活科】 2年『ぐんぐんそだて おいしいやさい』

・グループで育てている野菜の成長の記録を、写真とロイロノートでまとめる



今までは・・・

トマトと野菜を観察カードで記入していた。時間がかかるため、何度も記録することは難しい。



【効果UP】 【効率UP】

・一人一鉢のトマトは観察カードで記録。野菜は写真をロイロノートで管理することで、1回あたりの作業時間が減り、その分細かな観察をすることができた。

## 【小学校 生活科】 2年『ぐんぐんそだて おいしいやさい』

≪事前準備≫

育てている野菜の写真を毎週撮りためておく。

≪学習展開≫

活動①

ロイロノートへフォトから写真を取り込む。テキストを撮影した順番につなぐ。

活動②

整理されたカードに気づいたことを短文で書き込む。



**効果UP**

順番に並べることで、育つスピードや変化に気づきやすくなる。また、イラストでなく、写真のため個人差が少なく分かりやすい。

## 【小学校 生活科】 2年『ぐんぐんそだて おいしいやさい』

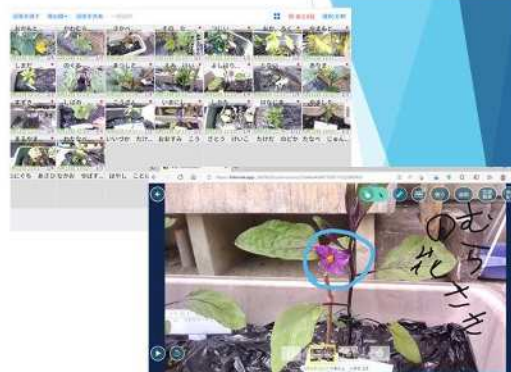
≪学習展開≫

活動③

つないだテキストを提出する。

活動④

全体で様々な野菜の成長を交流する。



**効果UP**

**効率UP**

長さや花、実の成長など、連続写真となっているため、自分が育てていない野菜も、変化していく様子が一目で分かる。アップができるので細かなところも見ることができる。

# 学習

## 【小学校 国語科】 2年『雨のうた』

グループで音読を工夫し、動画を撮って交流する。



今までは・・・

発表の場でみんなが揃わなかったり、恥ずかしかったりと、上手いできないこともあった。



【効果UP】【効率UP】

・発表時に目の前の人が少ないことで、緊張が軽減される。失敗しても、みんなを待たせることなくやり直せる。

## 【小学校 国語科】 2年『雨のうた』

≪事前準備≫

グループで1台GIGA端末を用意する。

≪学習展開≫

活動①

グループでどのように音読すれば様子が伝わるか相談して、練習する。

活動②

動画を撮り合い、Teamsのフォルダに保存する。



**効果UP**

違うグループの動画を撮ることで、他のグループの発表を見ることができ、良いところを共有して、自分のグループの発表をより良くできる。

## 【小学校 国語科】 2年『雨のうた』

≪学習展開≫

活動③

動画を見合っって他のグループの工夫を見つける。



**効果UP**

**効率UP**

動画に撮っておくことで、本番を何度も見直すことができ、他のグループと比較することができる。また、GIGA端末を持ち帰り、家でも褒めてもらえる機会が出来る。

# 学習

## 【総合的な学習の時間】 3年『吉田のステキを 見つけよう』

・鴨川・吉田山の知りたいことをシンキングツールを使って、まとめました。



今までは・・・  
子どもたちから出てきた意見を教師が整理したり、まとめたりしていた。



【効果UP】  
・シンキングツールを使うことで、自分の考えや疑問に思っていることを自分で整理することができ、より具体的な調査方法の視点を持つことができた。

## 【総合的な学習の時間】 3年『吉田のステキを 見つけよう』

《事前準備》  
チャートを選んでおく。視点を決めておく。

《学習展開》  
活動①  
ロイロノートのくらげチャートの中に、疑問に思っていることを書き込む。

活動②  
提出箱に入れて、全員で交流する。



**効果UP**

チャートを使うことで視覚的にわかりやすく、普段自分の考えを表出しにくい児童でも空白を埋めたいという意欲につながり、たくさんの疑問を持つことができた。

## 【総合的な学習の時間】 3年『吉田のステキを 見つけよう』

《学習展開》  
活動③  
Yチャートで、調査方法を視点別に自分でわかる。

活動④  
全員で交流して、調査活動につなげる。



**効果UP**

**効率UP**

疑問を視点別に整理することで調査方法が具体的に分かり、実際に見学する時にも何を見たらいいのかを自分で判断することができた。

# 学習

## 【総合的な学習の時間】 3年『吉田のステキを見つけよう』

・鴨川について、見たり聞いたりしたことをロイロノートでまとめ、発表する。



今までは・・・

ワークシートを使って、考えを整理したり、まとめたりしていた。



【効果UP】

・ロイロノート（共有ノート）を使うことで、グループの意見を効率よく共有することができた。

## 【総合的な学習の時間】 3年『吉田のステキを見つけよう』

《事前準備》

鴨川に関する写真をたくさん用意しておく。

《学習展開》

活動①

鴨川の魅力を伝えるキャッチフレーズを考え、その理由につながる写真を保存する。

活動②

保存した写真の中から、どの写真を使うと効果的か考えるために、チャートを使用して写真を選ぶ。  
(チャートは子どもたちが選んだもの)



効果UP

チャートを使うことで視覚的にわかりやすく、どの写真を使用するか自分たちで順位をつけて考えることができた。

## 【総合的な学習の時間】 3年『吉田のステキを見つけよう』

《学習展開》

活動③

選んだ写真にキャプションを付け、共有ノートに原稿を作成し、グループで推敲する。

活動④

模造紙を仕上げ、発表の練習をする。



効率UP

効果UP

発表内容を双括型にすることで、自分たちの考えをわかりやすく伝えることができた。

# 学習

## 【小学校 国語科】 4年『新聞を作ろう』

・グループで、ロイロノートを使いながら新聞を作る



今までは・・・

手書きでは割り付け内に記事が収まらなかったり、下書き・清書などをペンでなぞった後に修正があったりと手間と時間がかかった。



【効果UP】 【効率UP】

・ロイロノートで編集することで、これらの作業がしやすくなった。また、お互いの記事（付箋）を共有しやすいので、お互いの進行状況を把握しやすくなった。さらに、アンケート調査やWebでの調べ学習がしやすくなるなどの効果もあった。

## 【小学校 国語科】 4年『新聞を作ろう』

≪事前準備≫

教師も新聞やアンケートの見本を作り、活動の具体例を示す。

≪学習展開≫

活動①

- ・新聞のテーマを決める。
- ・調べたいことに合わせて、アンケートをしたり調べ学習をしたりする。

活動②

- ・割り付けを考える。

効果UP

効率UP



アンケート調査や調べ学習がしやすい。ロイロノートで作成するので、手書きと比べ、記事が割り付けからはみ出しても修正しやすい。

## 【小学校 国語科】 4年『新聞を作ろう』

≪学習展開≫

活動③

- ・調査結果をもとに記事を書く。

活動④

- ・お互いに完成した記事を組み立て、新聞を完成させる。

効果UP

効率UP



ロイロノートで記事を書くので、修正がしやすい。アンケート結果をグラフに変換でき、それをそのまま記事に使えるので読み手に伝わりやすい。時間短縮もできる。さらに、出来上がった付箋を児童間で共有するので、新聞を組み立てることも簡単にできる。



# 学習

## 【小学校 算数科】 4年『1億をこえる数』

- ・1億を10倍、100倍した数や10や100でわった数の変化をロイロで画面配信



今までは・・・  
黒板に位取り表を掲示して授業をしていた。  
黒板に書くと場所によっては見えづらく、  
時間もかかるためロイロを活用した。

### 【効果UP】

・ロイロで配信を行うことで、何が起こるのかという児童の興味がひきついた。また、話しながら矢印をかくことができるので、大きな数の変化への気づきの反応があった。

## 【小学校 算数科】 4年『1億をこえる数』

### ≪事前準備≫

ロイロのノートに位取り表を準備する。

### ≪学習展開≫

#### 活動①

1億を10倍、100倍した数、10でわる、100でわる数について表だけを見て、気づいたことを考える。

#### 活動②

集団学習で画面配信を行い、GIGAもしくは画面を見ながら、気づいたことを書込み、数の変化を考える。



### 効果UP

気づいたことを書き込むことで、気づけなかった児童の新たな発見へとつながった。書き込んだ表を「小数」の単元で提示することで、10倍や10でわる数の変化を思い出し、小数の数の変化の手立てになった。

# 学習

## 【小学校 外国語科】 4年『Unit5 Do you have a pen?』

自分で作った文房具セットを見せながら、英語で紹介をする。



今までは・・・

カードを切って、プリントに貼っていたため作業に個人差があり時間がかかった。カードをなくす児童をおり、使いたいカードを選ぶことができなかった。

【効果UP】 【効率UP】

・児童がカード切る時間をとらなくても、ロイロノートで簡単に選ぶことができる。また、修正ができるため色々な英単語を話すことができる。

## 【小学校 外国語科】 4年『Unit5 Do you have a pen?』

≪事前準備≫

1人1台GIGA端末を用意する。  
文房具セットが作れるカードを作る

≪学習展開≫

活動①

自分の文房具セットをつくる。

活動②

自分の文房具セットをペアに伝える。  
ペアは相手がどんなセットを作ったかを聞き取り同じセットを作成する。



効果UP

効率UP

ペアの児童が聞き取ったセットを作成する際に、イラストとセットで操作をするため視覚的に単語の定着をすることができる。紙カードを使わないので作業を短縮できる。

## 【小学校 外国語科】 4年『Unit5 Do you have a pen?』

≪学習展開≫

活動③

友達にプレゼントするための文房具セットを作成し、紹介をする。



効果UP

カードを見せ合うことで、むずかしい児童へ児童同士で助け合い、会話を行うことができる。



# 学習

## 【小学校 社会科】 5年 社会科のこれまでの学習を通して

学級でたてた学習問題に対して、教科書や資料集などを使って問題解決を図る。必要に応じてネット検索を使用する。分かったことや考えたことをノートやロイロノートにまとめていく。

今までは・・・

調べたことをノートにまとめていた。書いてまとめることに課題がある児童や字が整えられない児童にとってはなにを書いているのかもわかりづらい。

【効果UP】 【効率UP】

・まとめる方法をノートにするかロイロノートにするかを選択させることで個別最適な学習につながるのではないかと考える。ロイロノートにまとめている児童は場合によってはシンキングツールを使用している児童もいる。

## 【小学校 社会科】 5年 社会科のこれまでの学習を通して

### 《事前準備》

配布する資料がある場合は紙での印刷やロイロノートで資料を配布する。

### 《学習展開》

#### 活動①

身の回りの社会の現状や課題から考えを出し合い、学習問題をたてる。

#### 活動②

学習計画をもとに1時間ごとの問題を教科書や資料集などを使って調べ、まとめていく。



### 組み立ての流れ

#### 1 プレス

紙を使って、屋根やドア・床を作る作業。プレス機という機械で、折り曲げたり打ち抜いたりする。



**効果UP**

ノートに記録するのに時間がかかってしまう、資料なども写真を撮ることでロイロノート上に残すことができる。

## 【小学校 社会科】 5年 社会科のこれまでの学習を通して

### 《学習展開》

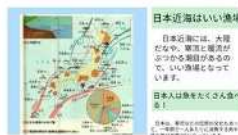
#### 活動③

学習問題を確認し、これまでの学習をふり返る。

#### 活動④

学習問題をもとに、特色などをまとめる。

### 日本の漁業について



### 水産加工品について 魚を加工する。

長崎港のすぐ近(工場があります。工場の人々は長崎のかまぼこの味を若い人たちに引きついでいきたいと思っているそうです。そして観光客をよびよせるために市役所と飲食店が協力して長崎かんぼこ王国を立ち上げました。

### 水産物の課題



### 日本の漁業について



**効果UP**

**効率UP**

オンラインで作成することで、友だち同士で共有が行いやすい。いろいろな人のまとめたものを見比べることで、自分自身のものにも生かしやすい。

# 協働学習 – 協働での調べ学習と考えの整理 –

## 【小学校 国語科】 6年 『私たちにできること』

- ・ 環境についての「事実」を調べる場面
- ・ 調べた事実から考えを整理する場面



今までは・・・

調べたノートを持ち寄り、話し合う時間を設定する必要があった。  
また使いたい図書が重なった場合、待つ時間が生まれていた。



【効率UP】

- ・ ロイロノートの共有ノートを使うことで、調べて分かったことを即時共有することができる。
- ・ 調べるために使いたい図書が重なったときには、一時的にロイロノートで写真を撮って調べられる。

## 【小学校 国語科】 6年 『私たちにできること』

《事前準備》

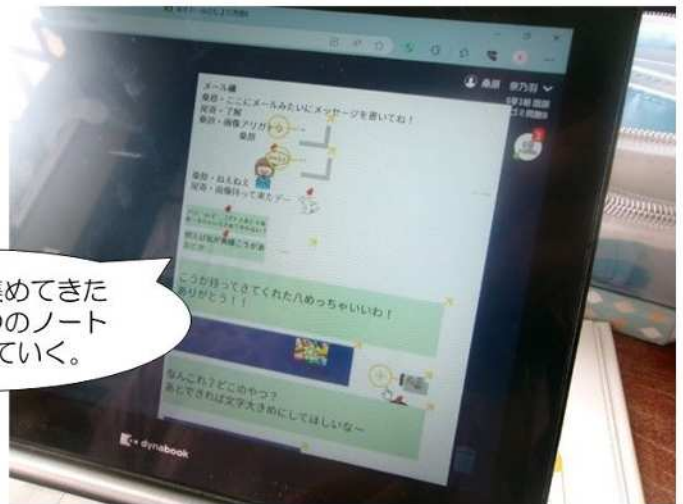
- ①グループごとの共有ノートをロイロノート上で作成しておく。
- ②図書を中心に調べられるように、地域の図書館や学校司書と連携して「団体貸出」を受けて図書を充実させる。
- ③インターネットで調べる場合のウェブサイトはこちらから指定する。

《学習展開》

資料を調べる

図書やインターネット、NHKの動画などを使って、自分たちが興味を持った課題について調べていく。

それぞれが集めてきた資料を、一つのノート上で管理していく。



効率UP

ロイロノートのカメラ機能で写真を撮ることで、発表に使う写真をグループで共有したり選んだりすることが簡単にできる。

# 学習

## 【小学校 図工科】 振り返りについて

- ・ 図工の作品を写真で残し、ロイロノートで提出させる

音のする絵  
題名「自立つ言葉」

感想カード 20点  
・ 作品の褒め言葉  
・ 友人の褒め言葉

写真1

私の大切な場所  
題名「残り一年…」

感想カード 20点  
・ 作品の褒め言葉  
・ 友人の褒め言葉

写真1

今までは・・・  
プリントを単元ごとに作成し、評価をとるために、毎回残していた。



【効果UP】 【効率UP】  
・ロイロノートで提出することによって、振り返りの作成や、保管が効率的になり、作品の写真添えて提出することにより、評価の際に参考にできる。

## 【小学校 図工科】 6年『音のする絵』など

- 《事前準備》  
振り返りのワークシートを準備しておく。
- 《学習展開》
- 活動①  
作品を作成するために、下書きや、配置を考えて、見通しを持つ。
- 活動②  
作品を作成する。

音のする絵  
題名「割れた」

写真1

**効果UP**

順番に並べることで、育つスピードや変化に気づきやすくなる。また、イラストでなく、写真のため個人差が少なく分かりやすい。

## 【小学校 図工科】 6年『音のする絵』など

- 《学習展開》
- 活動③  
作品が完成できたら、振り返りカードに取掛かる

かんしょうカード「星野」さん  
うまく立体的に書いていて、その場の感じが伝わる絵でよかったです。奥に行くほど家も小さくなっていて、よくできていてすごいなと思いました。

かんしょうカード「吉平」さん  
木に濃淡があって、葉の漢字もポンポンとする筆のタッチで再現していてすごいと思いました。また、色もきれいに再現していて葉に角うまいなと思いました。

かんしょうカード「中島」さん  
奥に行くにつれて小さくなっていき、遠近感がでています。また、廊下の状況？を詳細に表現していてスゴイと思いました。

かんしょうカード「増本」さん  
体育館の赤い幕を上から下に塗る音によって再現している、立体的な漢字もつたわって良い絵だと思いました。

**効果UP**

鑑賞カードも含めた振り返りカードにすることによって、評価をしやすく、子ども達も、以前気を付けたことや気づいたことを積み重ねることができる。

# 学習

## 【小学校 総合的な学習】 6年『京都の魅力を発信しよう』

グループで担当を決め、リーフレットを作成する。



今までは・・・

小さな紙には収まらず、グループでまとめるときには大きな紙で何度もやり直しをしなければいけなかった。



【効果UP】 【効率UP】

・やり直しがあればすぐに修正することができ、まとめやすくなった。写真も印刷の必要がなく、負担軽減になった。

## 【小学校 総合的な学習】 6年『京都の魅力を発信しよう』

≪事前準備≫

グループで1台GIGA端末を用意する。

≪学習展開≫

活動①

グループの中で担当や割付けを相談する。

活動②

市内巡りでの深まりをリーフレットに表す。



効果UP

teamsで共同編集を行うことによって、効率よく進めることができる。





# 年間指導計画表 (関連単元配列表)

昨年度より「関連単元配列表」を学習指導の計画のために活用するだけでなく、実践を記録し行進することで次年度以降の学習指導計画に生かせる引継資料としても活用できるようにしている。例えば、授業で活用したアプリ等をアイコンで記録することで、次年度以降の計画に活用できる。

今年度は、情報活用支援ツールを参照し「どの情報活用能力」を「どの単元で」育成するのかを表せるように様式を改善した。また、関連単元配列表の下部に学校指導課から示されている「GIGA 端末の基本的な操作」の欄を設定し、GIGA 端末の基本的な操作スキルを指導できる単元が分かりやすくなるように配置している。これらにより、学習と関連付けた情報活用能力育成の標準化を図りたい。



令和5年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

「自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる」

1年

育成をめざす資質・能力  
重視する情報活用能力

多面的に考える力  
場に応じた表現力(情報活用)

根拠に基づく判断力  
相手に伝わるように実物、写真、動画等を活用して、工夫して表現する。

※場に応じた表現力

勇気ある行動力  
法の理解と遵守(モラル)

他者から学ぶ姿勢  
相手意識をもって、情報を利用するときの基本的なルールとマナーを守って行動する。

Table with columns for months (April to March) and rows for subjects (Language, Writing, Arithmetic, Life, Music, Art, Physical Education, Moral Education, English Activities, Special Activities). Includes lesson plans, activities, and time allocations.

※標準時数を超過する単元がある場合は3月に表示します。

※凡例 ◎…当該学年で習得する操作 ○…当該学年で体験する操作 【ロ】…ロイノート、【T】…Teams、【Z】…Zoom ★…実践事例報告あり ☆…ロイノートでの実践・ワークシート等あり (R4)…令和4年度 (例) ☆ロR4…令和4年度にロイノートで

- 【L】インタビュー 【I】写真撮影 【S】インターネット検索 【I】情報の整理 【I】考えの整理 【L】表とグラフで表現 【I】アンケートで意見を求める 【I】共同編集 【I】話し力を高める 【I】新聞を作る 【I】プレゼンを作る 【I】オンラインでプレゼン 【I】動画づくりに挑戦 【I】動画 取材撮影編 【I】動画 編集

令和5年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

「自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる」

2年

育成をめざす資質・能力  
重視する情報活用能力

多面的に考える力  
場に応じた表現力(情報活用)

根拠に基づく判断力  
相手に伝わるように実物、写真、動画等を活用して、工夫して表現する。

※場に応じた表現力

勇気ある行動力  
法の理解と遵守(モラル)

他者から学ぶ姿勢  
相手意識をもって、情報を利用するときの基本的なルールとマナーを守って行動する。

時	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数	標準時数	
行事	始業式・入学式 町別集会 全国学力学習状況調査 検診 参観・懇談会 個人懇談会	1年生を迎える会 遠足 修学旅行 検診	修学旅行 参観(引渡し訓練) 検診	個人懇談会 非行防止教室 終業式	始業式 Jプロ、プレ	自由研究発表会 ICTで提示して伝える。	スポーツフェスティバル 校外学習(宝が池) 陸上記録会・持久走記録会	就学時検診 研究発表会 学習発表会	個人懇談会 終業式	始業式 音楽集会	参観・懇談会 園工展	6年生を送る会 卒業式 修了式			
国語	1 ふきのとう 2 図書館たんけん 3 春が いっぱい 4 きょうの できごと 4 よめだちを さかそう	12 たんぽぽの ちえ/[じょうほう]じゅんじょ 12 かんさつ名人に なろう 2 同じ ふぶんをもつ かん字	2 うれしい ことば 2 かん字の ひろば① 11 スイミー 2 かたかなの ひろば 2 【じょうほう】メモを とる とき 2 【じょうほう】メモを とる とき	9 あったらしいな、こんなもの 2 夏が いっぱい 7 お気に入りの本をよもう 2 キーワードを基にウェブページ などを使って情報を整理する。 紹介文にまとめる。	2 雨のうた 詩にまとめる。 4 ことばでみちあんない 2 かん字のひろば② 14 どうぶつ園のじゅうい 2 ことばあそびをしよう 2 なかまのことばとかん字	2 かん字のひろば③ 14 お手紙 2 かん字のひろば④ 2 主語と述語に 気をつけよう 2 かん字の読み方 2 秋が いっぱい	9 そだんにのって下さい 6 おもちゃの作りか/おもちゃの作り方をせつめいしよう 6 おもちゃの作りか/おもちゃの作り方をせつめいしよう 2 かたかなで書くことば 2 冬が いっぱい 1 せかいーの話 2 かん字の広場④	12 わたしはおねえさん 12 お話のさくやになろう 2 かん字の広場⑤ 3 おにごっこ/[じょうほう]本でのしらべ方 4 ようすをあらわ 2 はじめ・中・おわりの 構成でまとめる。 紙芝居で伝える。 絵や文書、写真などを組み合わ せ、対応させながらまとめる。	2 ねこのこ/おとのはなびら/ほんたいのことば 2 にたいみのことば、ほんたいのいみのことば 2 かん字の広場⑤ 3 おにごっこ/[じょうほう]本でのしらべ方 4 ようすをあらわ 大切な言葉、文章を付箋・ カードやノートなどに取り出 し、整理する。	8 見たこと、かんじたこと 9 楽しかったよ、二年生 2 カンジーはかせの犬はつめい 1 ことばを楽しもう 1 一歩の白い馬	14 すてきなところをつたえよう 9 楽しかったよ、二年生 2 カンジーはかせの犬はつめい 1 ことばを楽しもう 1 一歩の白い馬	280	285		
書写	1 町の文字たんけん/もくじ 1 はじめの学しゅう	3 画の方こう 3 ツツトライ(メモの とり方)	1 レッツトライ(よこ書きの 書き方) 2 書きじゅん(かん字) 4 画の方こう(かん字)	2 書きじゅん(かん字) 4 画の方こう(かん字)	3 画の長さ、画と画との間(かん字) 2 画のつき方、交わり方(かん字)	3 画の長さ、画と画との間(かん字) 2 画のつき方、交わり方(かん字)	3 文字の中心(かん字) 5 年がじょうと書きぞめ(かん字)	2 文字の形(かん字) 4 書いてつたえ合おう	2 文字の形(かん字) 4 書いてつたえ合おう	2 学しゅうのまとめ			58	30	
算数	1 わくわく算数学しゅう 4 1 ひょうとグラフ 5 2 時ごとと時間 6 3 たし算とひき算	10 4 長さ 4 ひょうととひき算のひっ算(1) 12 6 100をこえる数	1 ふくしゅう 6 図をつかって考えよう(1) 12 6 100をこえる数	7 7 かさ 1 どんな計算になるのかな(1) 1 算数のじゅうけんきゅう 2 ふくしゅう	11 8 たし算とひき算のひら算(2) 3 図をつかって考えよう(2)	3 9 じきと計算 17 10 かけ算(1)	1 ふくしゅう 14 11 かけ算(2) 11 12 三角形と四角形	2 図をつかって考えよう(3) 1 どんな計算になるのかな(2) 1 買えますか? 買えませんか? 2 ふくしゅう	9 13 九九のきまり 7 14 100cmをこえる長さ 6 16 はこの形	1 ふくしゅう 8 15 1000をこえる数 6 16 はこの形	5 17 分数 1 何番目 3 もうすぐ3年生			175	175
生活	2 さあ、きょうから 2年生 13 まちをたんけん犬はつけん 16 ぐんぐん そだておいしい やさい	2 まちをたんけん犬はつけん 16 ぐんぐん そだておいしい やさい	12 小さな友だち ぐんぐん そだておいしい やさい	2 小さな友だち ぐんぐん そだておいしい やさい	20 あそんで ためて くふうして 22 もっともっとまちたんけん	あそんで ためて くふうして 22 もっともっとまちたんけん	あそんで ためて くふうして 22 もっともっとまちたんけん	あそんで ためて くふうして 22 もっともっとまちたんけん	あそんで ためて くふうして 22 もっともっとまちたんけん	あそんで ためて くふうして 22 もっともっとまちたんけん	あそんで ためて くふうして 22 もっともっとまちたんけん	あそんで ためて くふうして 22 もっともっとまちたんけん	あそんで ためて くふうして 22 もっともっとまちたんけん	105	105
音楽	4 1 音楽で みんなとつながろう 6 2 はくの まとまりを かんじとろう	10 3 ドレミで あそぼう 4 4 せいこつの中にある音を 楽しもう	9 5 リズムを かなで 楽しもう 5 6 くりかえしを 見つけよう 6 7 いろいろながっきの 音を さがそう	5 6 くりかえしを 見つけよう 6 7 いろいろながっきの 音を さがそう	7 いろいろながっきの 音を さがそう 8 ようすを おもいうかべよう	7 いろいろながっきの 音を さがそう 8 ようすを おもいうかべよう	7 いろいろながっきの 音を さがそう 8 ようすを おもいうかべよう	7 いろいろながっきの 音を さがそう 8 ようすを おもいうかべよう	7 いろいろながっきの 音を さがそう 8 ようすを おもいうかべよう	7 いろいろながっきの 音を さがそう 8 ようすを おもいうかべよう	7 いろいろながっきの 音を さがそう 8 ようすを おもいうかべよう	7 いろいろながっきの 音を さがそう 8 ようすを おもいうかべよう	7 いろいろながっきの 音を さがそう 8 ようすを おもいうかべよう	70	70
図工	2 おはなみスケッチ 2 ひかりの プレゼント 2 にぎにぎねんじ	4 なつから へんしん 4 ふしぎな たまご	2 しんぶんしとなかよし 4 とろとろえのぐでかく	6 まどからこんにちは 2 いろの見えかたむげん大	6 ことばのかたち(お話の絵) 4 バタバタ ストーリー 2 つないでつるして 敬老ポスターをかこう	2 ともだち見つけた! 2 おもいでをかたちに	6 わくわく おはなし ゲーム 2 だんボールに入ってみよう!?	4 たのしく うつして 6 音づくり フレンズ 4 ともだちハウス	4 たのしく うつして 6 音づくり フレンズ 4 ともだちハウス	4 たのしく うつして 6 音づくり フレンズ 4 ともだちハウス	4 たのしく うつして 6 音づくり フレンズ 4 ともだちハウス	4 たのしく うつして 6 音づくり フレンズ 4 ともだちハウス	4 たのしく うつして 6 音づくり フレンズ 4 ともだちハウス	74	70
体育	4 休ぼうしをうんとあそび 5 つばうあそび	2 新体力テスト 3 ゆうぐあそぼう	6 スイミー 7 マットあそび	12 水あそび 4 なげあそび・まねっこあそび	3 ようぐあそび 6 リレーあそび 4 おにあそび・すもうあそび	5 リズムあそび 7 とびばあそび	6 バスゲーム(1) 5 とびあそび	6 ポールけりゲーム(1) 4 ゆっくりかけあし・なわとび	8 バスゲーム(2) 8 ポールけりゲーム(2)	8 バスゲーム(2) 8 ポールけりゲーム(2)	8 バスゲーム(2) 8 ポールけりゲーム(2)	8 バスゲーム(2) 8 ポールけりゲーム(2)	105	105	
道徳	1 1 大きくなったね 2 2 金の おの 1 25 わたしたちの 校歌	1 1 本がかりさん かんばつて いるね 1 5 およげない りずさん 1 6 3びきは 友だち 1 7 おにいちゃんの 電話	1 9 ありがとって 言われたよ 1 10 あぶないよ 1 32 なまけにんじゃ	1 12 タヒ子からの 友だち 1 11 ぎおんまつり 1 18 さて、どうかな	1 14 るっぺ どう したの 1 15 いいところ みつけた 1 16 虫が 大きい アンリ・ファープルー 1 さっちゃんまほうの手	1 17 お月さま コロ 1 19 わりこみ 1 20 おじさんからの 手紙	1 29 ぐみの木と 小鳥 1 22 おばあちゃん お元気で 1 27 きまりの ない 学校	1 33 あいさつが きらいな 王さま 1 24 なわとび 1 8 ーりん車	1 30 ある 日の くつばこで 1 31 七つ の 星 1 28 どうして ないてるの	1 30 ある 日の くつばこで 1 31 七つ の 星 1 28 どうして ないてるの	1 30 ある 日の くつばこで 1 31 七つ の 星 1 28 どうして ないてるの	1 30 ある 日の くつばこで 1 31 七つ の 星 1 28 どうして ないてるの	1 30 ある 日の くつばこで 1 31 七つ の 星 1 28 どうして ないてるの	35	35
英語活動				5 Unit 1 いくつかなクイズをしよう				5 Unit 2 サラダで元氣		5 Unit 3 絵本をしようかいしよ			15	15	
特活	1 学級目標を決めよう 1 安全指導 1 お誕生日会 1 係活動をしよう	1 安全指導 1 お誕生日会 1 1年生を迎える会にむけて	1 安全指導 1 お誕生日会 1 係活動を見直そう 1 情報モラル指導	1 安全指導 1 お誕生日会 1 夏休みのくらし	1 安全指導 1 係活動を見直そう 1 お誕生日会	1 安全指導 1 お誕生日会 1 係活動を見直そう	1 安全指導 1 お誕生日会 1 情報モラル指導	1 安全指導 1 お誕生日会 1 情報モラル指導 1 冬休みのくらし	1 安全指導 1 お誕生日会 1 係活動を見直そう	1 安全指導 1 お誕生日会 1 情報モラル指導	1 安全指導 1 お誕生日会 1 係活動を見直そう 1 6年生を送る会にむけて			36	35
ICT活用	◎ZoomやTeams等の経験 ◎マウスやタッチパッドによる操作 ◎指やタッチペンで文字や絵をか	◎[ロ]ノド、や「カード」の取り出し ◎[ロ]ノド、や「カード」の提出 ◎[ロ]ノド、や「カード」の保存 ◎[ロ]マイフォルダの管理	◎写真を記録 ◎動画を記録 ◎音声を記録 ◎[ロ]写真等の編集や記録を行う	◎フリック入力で文字入力 ◎マウスやタッチパッドによる操作	◎五十音順ソフトキーボードで文字入力 ◎キッズ用サイトでタップして検索 ◎キッズ用サイトでキーワード検索	◎HPのお気に入り登録 ◎HPのショートカット作成								0	0
情報活用		「きせつのことば」の単元では、思いが言葉を ふせん1枚につき、1項目を大きく書くことを継続し て指導した。また、交流のときに同じ意見は重ね るよう指導した。													
情報機器操作															
表現力(話し方・聞き方)															
時数	100	79	102	74	30	57	102	90	81	68	115	43	953	925	
時率	72	81	99	68	23	90	95	90	81	68	81	77	925	925	

※標準時数を超過する単元がある場合は3月に表示します。  
 ※凡例 ◎…当該学年で習得する操作 ○…当該学年で体験する操作 【ロ】…ロイノド、【T】…Teams、【Z】…Zoom ★…実践事例報告あり ☆…ロイノドでの実践・ワークシート等あり (R4)…令和4年度 (例:☆R4…令和4年度にロイノドでの実践・ワークシート等あり)

- 【L】インタビュー
- 【L】写真撮影
- 【L】インターネット検索
- 【L】情報の整理
- 【L】考えの整理
- 【L】表とグラフで表現
- 【L】アンケートで意見を求める
- 【L】共同編集
- 【L】話し方を高める
- 【L】新聞を作る
- 【L】プレゼンを作る
- 【L】オンラインでプレゼン
- 【L】動画づくりに挑戦
- 【L】動画取材撮影編
- 【L】動画編集

令和5年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

育成をめざす資質・能力  
重視する情報活用能力

多面的に考える力  
場に応じた表現力(情報活用)

「自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる」

根拠に基づく判断力

※場に応じた表現力

相手や目的に応じて、プレゼンテーション等の表現方法を選択し、表現する。

勇気ある行動力

法の理解と遵守(モラル)

他者から学ぶ姿勢

相手への影響を考えて、情報を利用するときのルールやマナーを守って行動する。

3年

Table with columns for months (April to March) and rows for subjects (Language, Writing, Social Studies, Math, Science, General, Music, Art, Physical Education, Moral Education, Foreign Language, Special Activities, IT Skills). Includes lesson plans, activities, and time allocations.

※標準時数を超過する単元がある場合は3月に表示します。

※凡例 ○…当該学年で習得する操作 ○…当該学年で体験する操作 【ロ】…ローノート、【T】…Teams、【Z】…Zoom ★…実践事例報告あり ☆ロ…ローノートでの実践・ワークシート等あり (R4)…令和4年度 (例: ☆R4…令和4年度にローノート)

- 【L】インターネット検索 【L】情報の整理 【L】考えの整理 【L】表とグラフで表現 【L】アンケートで意見を集める 【L】共同編集 【L】話し方を高める 【L】新聞を作る 【L】プレゼンを作る 【L】オンラインでプレゼン 【L】動画づくりに挑戦 【L】動画 取材撮影編 【L】動画 編集

令和5年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

「自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる」

4年

育成をめざす資質・能力  
重視する情報活用能力

多面的に考える力  
場に応じた表現力(情報活用)

根拠に基づく判断力  
相手や目的に応じて、プレゼンテーション等の表現方法を選択し、表現する。

※場に応じた表現力

勇気ある行動力  
法の理解と遵守(モラル)

他者から学ぶ姿勢  
相手への影響を考えて、情報を利用するときのルールやマナーを守って行動する。

Table with columns for months (April to March) and rows for subjects (Language, Writing, Social Studies, Math, Science, General, Music, Art, Physical Education, Moral Education, Foreign Language, Special Activities, IT Skills, and Time). Each cell contains lesson plans, activities, and icons. Includes a summary row at the bottom for total hours and standard hours.

※標準時数を超過する単元がある場合は3月に表示します。

※凡例 ◎…当該学年で習得する操作 ○…当該学年で体験する操作 【R】…ロイロノート、【T】…Teams、【Z】…Zoom ★…実践事例報告あり ☆…ロイロノートでの実践・ワークシート等あり (R4)…令和4年度 (例: ☆R4…令和4年度にロイロノート)

- 【L】インタビュー 【L】写真撮影 【L】インターネット検索 【L】情報の整理 【L】考えの整理 【L】表とグラフで表現 【L】アンケートで意見を集める 【L】共同編集 【L】話し方を高める 【L】新聞を作る 【L】プレゼンを作る 【L】オンラインでプレゼン 【L】動画づくりに挑戦 【L】動画 取材撮影編 【L】動画 編集

令和5年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

「自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる」

5年

育成をめざす資質・能力  
重視する情報活用能力

多面的に考える力  
場に応じた表現力(情報活用)

根拠に基づく判断力  
相手や目的、意図に応じて適切な複数の表現手段を組み合わせ、相手とのやり取りを含めて表現する。

※場に応じた表現力

勇気ある行動力  
法の理解と遵守(モラル)

他者から学ぶ姿勢  
他人や社会への影響を考えて、情報を利用するときのルールやマナーを守って行動する。

Table with columns for months (April to March) and rows for subjects (Japanese, Writing, Social Studies, Math, Science, General, Music, Art, Home, Physical Education, Foreign Language, Moral Education, Special Activities, IT Skills, and Social/Artwork/Integration). Each cell contains lesson topics and activities. Includes a summary row at the bottom for total hours and standards.

※標準時数を超過する単元がある場合は3月に表示します。  
※凡例 ◎…当該学年で習得する操作 ○…当該学年で体験する操作 【ロ】…ロイノート、【T】…Teams、【Z】…Zoom ★…実践事例報告あり ☆…ロイノートでの実践・ワークシート等あり (R4)…令和4年度 (例: ☆R4…令和4年度にロイノートで)

令和5年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

育成をめざす資質・能力  
重視する情報活用能力

「自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる」

多面的に考える力  
場に応じた表現力(情報活用)  
根拠に基づく判断力  
※場に応じた表現力  
勇気ある行動力  
法の理解と遵守(モラル)  
他者から学ぶ姿勢  
他人や社会への影響を考えて、情報を利用するときのルールやマナーを守って行動する。

6年

Table with columns for months (April to March) and rows for subjects (行事, 国語, 書写, 社会, 算数, 理科, 総合, 音楽, 図工, 家庭, 体育, 外国語, 道徳, 特活). Includes detailed lesson plans, activities, and time allocations.

※標準時数を超過する単元がある場合は3月に表示します。  
※凡例 ◎…当該学年で習得する操作 ○…当該学年で体験する操作 【ロ】…ロイノート、【T】…Teams、【Z】…Zoom ★…実践事例報告あり ☆ロ…ロイノートでの実践・ワークシート等あり (R4)…令和4年度 (例) ☆ロR4…令和4年度にロイノートでの実践あり

Navigation icons for various digital tools: 【L】インタビュー, 【L】写真撮影, 【L】インターネット検索, 【L】情報の整理, 【L】考えの整理, 【L】表とグラフで表現, 【L】アンケートで意見を集める, 【L】共同編集, 【L】話す力を高める, 【L】新聞を作る, 【L】プレゼンを作る, 【L】オンラインでプレゼン, 【L】動画づくりに挑戦, 【L】動画 取材撮影, 【L】動画 編集



## 研究同人

青井 杏実	有山 陽子	池田 希	池永 昌堅	石飛 智子
岩本 美奈子	栄羽 弘二郎	大西 潤一	大葭原 理恵	奥雲 直美
角川 哲平	兼田 亮平	加納 ゆき	北口 怜香	木村 純也
木本 智子	甲谷 洋子	小西 聡子	小林 歩	鈴木 貴子
鈴木 万佐子	芹澤 和恵	高尾 悠也	竹内 楓	多田 千家子
辻 良一	中村 瑞代	成瀬 朱子	西澤 味佐子	西山 大輝
長谷川 英司	樋口 華乃	平松 孝	藤川 純子	星野 愛
松田 絵里	松山 雄樹	宮地 法子	森口 法子	山田 千恵子
山根 歌奈子	吉田 順子	ローソン・ジャクソン		渡邊 夏奈

(五十音順)

本研究は、**教育実践・支援のためのプロジェクト研究助成事業（JNK4 情報ネットワーク教育活用研究協議会）**の助成を受けて実践を進めてきました。（令和4・5年度の2年次）

令和6年3月

編集・発行／京都市立第四錦林小学校